MLETB14w
無線LANカード
ユーザーズマニュアル
第1版

無線機器について

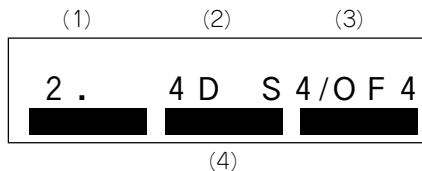
本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、お客様相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーテーションの設置など)についてご相談してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせください。

ステッカー

本製品に同梱されている上記内容のステッカーを、本製品を装着したプリンタに貼り付けてください。

現品表示

本製品と梱包箱には、以下に示す現品表示が記載されています。

(1)「2.4」 ： 2.4GHz帯を使用する無線設備を表します。
(2)「DS」 ： 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
「4」 ： 想定される干渉距離が40mであることを示します。
(3)「OF」 ： 変調方式がOFDM方式であることを示します。
「4」 ： 想定される干渉距離が40mであることを示します。
(4) ■■■ ： 2.4GHz帯の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル(本書)をお読みください。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。

⚠警告	
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。

⚠注意	
	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　　刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

目次

1　お使いいただく前に

梱包内容の確認

梱包内容が揃っているか確認してください。

□無線LANカード

□ユーザーズマニュアル（本書）

□保証書

□ステッカー

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1．本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2．万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上お客様相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーテーションの設置など）についてご相談してください。

3．その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせください。

各部の名称とはたらき

無線LANカードの動作状態を示します。

ACTランプ状態		意　味
HIランプ（緑）	LOランプ（橙）	
消灯	消灯	プリンタの電源OFF
交互に点滅		無線接続できない
常時点灯	消灯	無線接続中で、信号強度は十分
消灯	常時点灯	無線接続中で、信号強度は不十分
はやく点滅	消灯	データ受信中で、信号強度は十分
消灯	はやく点滅	データ受信中で、信号強度は不十分

無線LANカードの特長

IEEE 802.11b/g対応

規格値54Mbpsの高速無線LAN通信に対応しています。

54Mbpsは理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度ではありません。実効通信速度は、距離・周囲の電波状況・使用するコンピュータやアクセスポイントの性能などにより変動します。

WPA準拠の機器と通信可能

WPA準拠のアクセスポイントとの間で、安全な無線LAN通信を行うことができます。

本製品はWi-Fi認定は取得しておりません。本製品はWi-Fi準拠機器との接続性を保証するものではありません。

専用ネットワークユーティリティに対応

ネットワーク上のWindowsXP/Me/98/95/Server2003/2000/NT4.0から無線LANカードの設定を行うことができます。
専用ネットワークユーティリティはプリンタ本体に添付されています。

Webブラウザで管理できます。

Microsoft Internet ExplorerやNetscape NavigatorなどのWebブラウザを利用して、無線LANカードやプリンタの設定ができます。

SNMPに対応

SNMP エージェントを実装しています。

セキュリティ機能

ログインパスワード設定、プロトコル/ サービス/IP アドレスのアクセス制限などのセキュリティ機能により、外部からの不正なアクセスを制限できます。

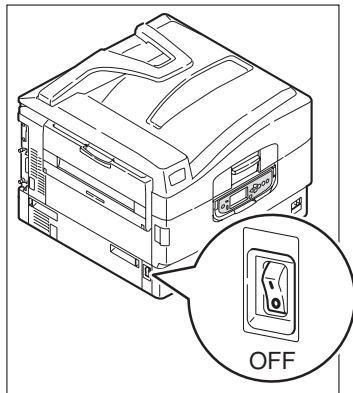
TCP/IPに対応

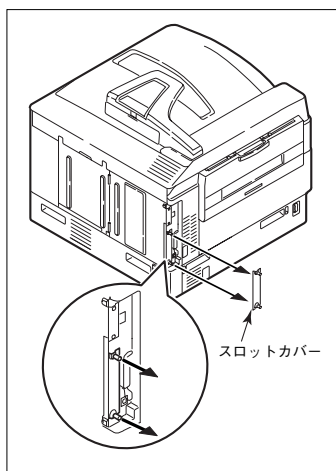
TCP/IPプロトコルに対応しています。

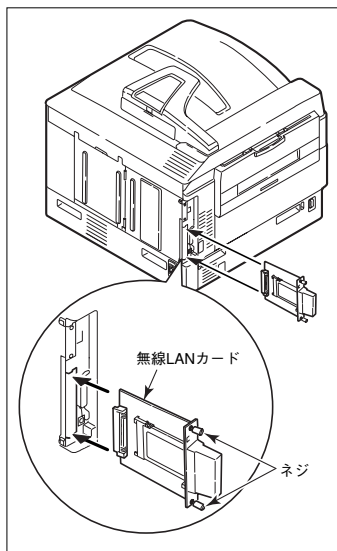
本製品はEtherTalkには対応しておりません。
Macintoshから印刷したい場合には、Mac OS X 10.2以降でRendezvousを利用してください。

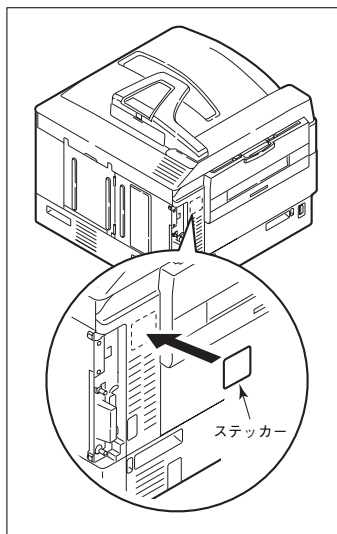
2 無線LANカードを取り付けます

プリンタに取り付けます

手順（1から4まであります。）

1 プリンタの電源をOFFにします。

電源の切り方は、プリンタ本体のユーザーズマニュアル「プリンタ機能編」の「電源を切る」をご覧ください。

2 スロットカバーを取り外します。

スロットカバーは捨てずに保管し、無線LANカードを使用しないときに装着してください。

3 無線LANカードを取り付けます。

奥までしっかりと挿し込み、ネジで固定してください。

4 添付のステッカーをプリンタに貼り付けます。

無線LANカードを初期化します

初期化すると、無線LANカードのネットワーク設定項目が初期値になります。

手順（1から2まであります。）

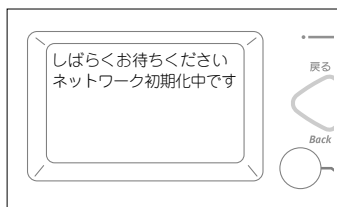
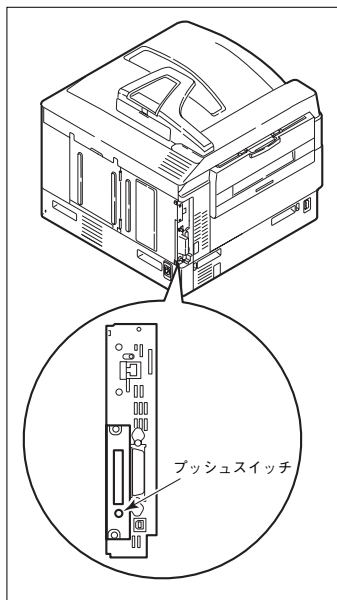
1 プリンタの電源がOFFになっていることを確認します。

電源の切り方は、プリンタ本体のユーザーズマニュアル「プリンタ機能編」の「電源を切る」をご覧ください。

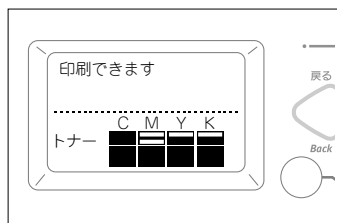
2 無線LANカードのプッシュスイッチを押したまま、プリンタの電源をONにし、表示部に［しばらくお待ちください　ネットワーク初期化中です］が表示されたら指を離します。

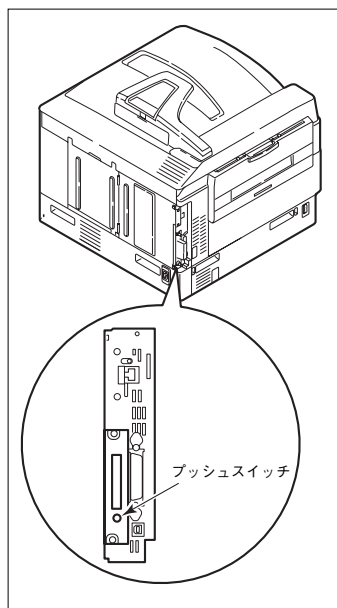
プッシュスイッチ

［しばらくお待ちください　ネットワーク初期化中です］が表示されるまでに1～2分程度かかります。

無線LANカードが初期化されます。

正しく取り付けられたか確認します

ネットワークの設定情報(Network Summary)を印刷し、無線LANカードが正しく取り付けられたかを確認します。

手順（1から3まであります。）

1 トレイ 1 に A4 用紙をセットします。

2 表示部に [印刷できます] と表示していることを確認します。

3 プッシュスイッチを3秒間以上押し続けてから、指を離します。

ネットワークの設定情報（Network Summary）が印刷されたら、正常に取り付けられています。

Network Summaryの印刷例

イーサネットアドレス
（MAC Address）

Network Summary

PCI Slot2:Wireless IEEE802.11g

Structure — PCI Slot1: 100/10 Base Wired Ethernet
PCI Slot2: Wireless IEEE802.11g

General Information

Network Function Name	MLETB14w	Firmware Version	03.A6
		OkiWebRemote	W3.36
MAC Address	00:80:92:08:0F:44	Wireless FW / ID	00.19 / 01000403 00 314C434C
	/ 54Mbps > default		
	Authentication Status	OK(Open)	
	Link Quality / Signal Strength	76% / 76%	
Network Status	Unicast Packets Received	8	
	Packets Transmitted	49	
	Total Packets Received	10	
	Bad Packets Received	0	
TCP/IP Protocol	Enable	Web Service	Enable
		Telnet Service	Enable
		FTP Service	Enable
		SNMP Service	Enable

TCP/IP Configuration

IP Address Set	MANUAL
IP Address	192.168.0.4
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	192.168.0.1
Web Address	http://192.168.0.4
Auto Discovery	
Windows(Network Plug and Play)	Enable
Macintosh(Rendezvous)	Enable
Printer Name(Printer is identified by this name.)	OKI-MICROLINE9600PS-080F44

Wireless Configuration

Authentication Setting	Open

3 無線LANの設定をします

動作環境を確認します

- 日本語以外のOSには対応していません。
- MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。
- Windows3.1/NT3.51では動作しません。

● Windows Server 2003

Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換で、IEEE802.11b/g対応のワイヤレスネットワークインタフェースを搭載している機種
ただし、32ビット版のみ対応

● WindowsXP

WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）で、IEEE802.11b/g対応のワイヤレスネットワークインタフェースを搭載している機種

● WindowsMe/98/95

WindowsMe/98/95日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、IEEE802.11b/g対応のワイヤレスネットワークインタフェースを搭載している機種
Internet Explorer 4.0以上がインストールされていること

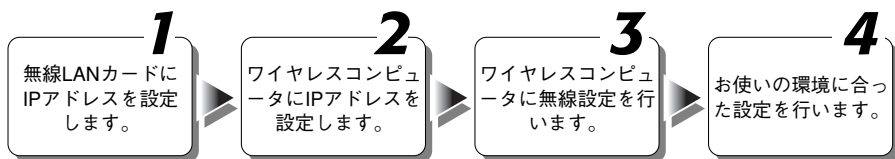
● Windows2000

Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、IEEE802.11b/g対応のワイヤレスネットワークインタフェースを搭載している機種

● WindowsNT4.0

WindowsNT4.0日本語版の動作するコンピュータ（PSプリンタドライバはサービスパック5以上）
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、IEEE802.11b/g対応のワイヤレスネットワークインタフェースを搭載している機種

ARC 互換RISCベースのプロセッサ（MIPS®シリーズ、Alpha、PowerPC™など）のシステムには対応していません。

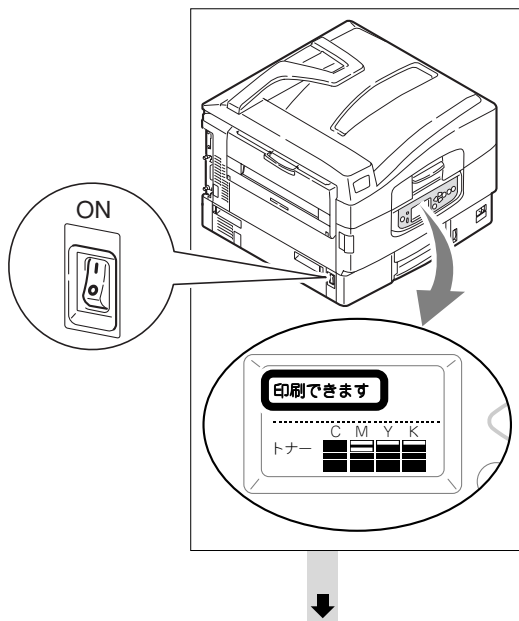
無線LANの設定をします

ワイヤレスコンピュータとプリンタとをアドホックモードで無線接続し、無線LANカードの設定を行います。

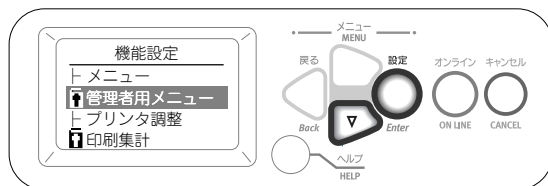
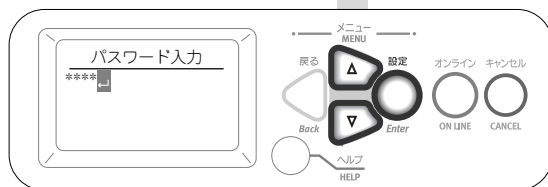
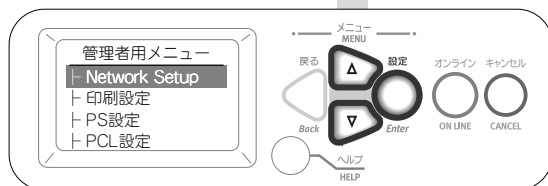
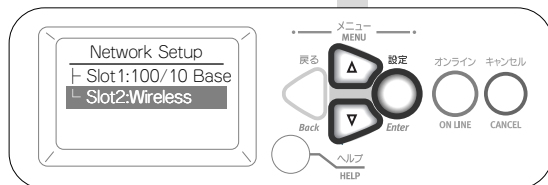
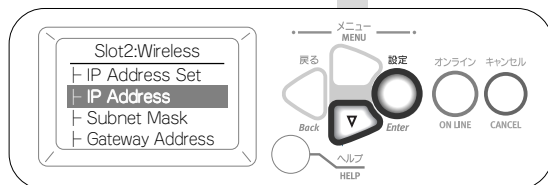
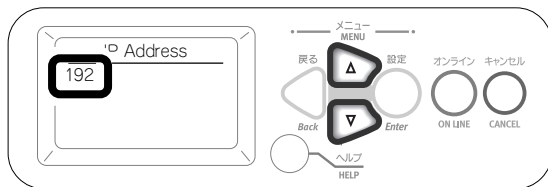
メモ　有線LANインタフェース経由で無線設定を行うこともできます。「有線LAN接続を使って無線LANカードの設定をします」(57ページ)をご覧ください。

1. 無線LANカードにIPアドレスを設定します

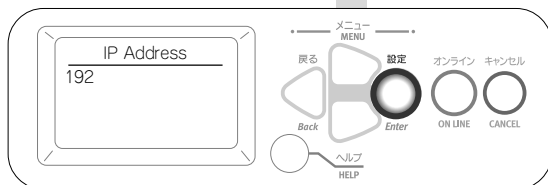
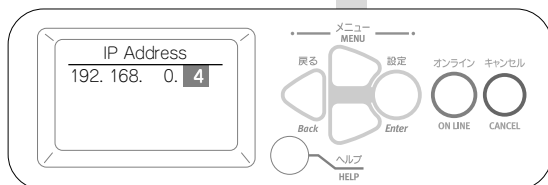
メモ　DHCPサーバからIPアドレスを取得して利用する場合でも、初めて無線LANカードの設定を行うときには一時的に適当なIPアドレスを設定してください。
無線LAN設定終了後、あらためて操作パネルよりDHCPの設定をしてください。

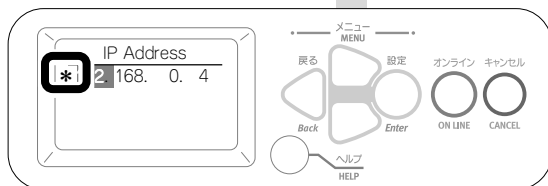
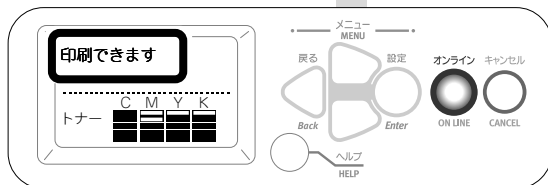
プリンタの操作パネルから無線LANカードにIPアドレスを設定します。

IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンするなど重大な問題が発生する場合があります。プリンタに設定できるIPアドレスを確認してください。

❶ 電源スイッチのオン（I）を押します。

❷ 操作パネルに［印刷できます］と表示したことを確認します。

❸ ボタンを数回押して［管理者用メニュー］を選択し、設定ボタンを押します。

❹ パスワード入力画面になるので、ボタンまたはボタンで1桁目の数字を選択し、設定ボタンを押します。
次の桁に移るので、同様の手順で4桁目まで入力します。
パスワードの初期値は「0000」です。
最後に設定ボタンを押します。

❺ ボタンまたはボタンを押して［Network Setup］を選択し、設定ボタンを押します。

❻ ボタンまたはボタンを押して［Slot2:Wireless］を選択し、設定ボタンを押します。

❼ ボタンを数回押して［IP Address］を選択し、設定ボタンを押します。

❽ ボタンまたは ボタンを押し、IP アドレスの 1 桁目を設定します。

ここでは、192.168.0.2 に設定する場合を例にします。

ボタンを 2 秒以上押すと、早送りします。

❾ 設定ボタンを押します。

❿ ❽, ❾ を繰り返し、全ての桁を設定します。

⓫ 4 桁目を設定すると設定した値の左側に＊がつきます。

⓬ 戻るボタンを押します。

⓭［IP Address］と同様に、「Subnet Mask」、「Gateway Address」を設定します。

⓮ オンラインボタンを押し、［印刷できます］を表示します。

2. ワイヤレスコンピュータにIPアドレスを設定します

IEEE802.11b/g対応の無線LAN機能を持ったワイヤレスコンピュータをご用意ください。

WindowsXP/Server2003をお使いの方

コンピュータの管理者の権限が必要です。

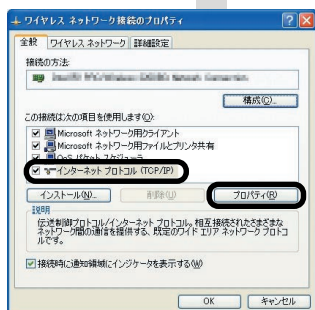
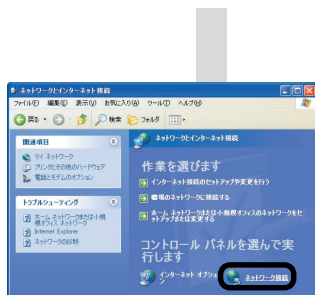
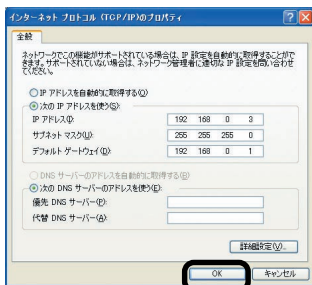
❶ コンピュータの電源をONにし、Windowsを起動します。

❷ WindowsXPをお使いの方

［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。［コントロールパネルを選んで実行します］の［ネットワーク接続］をクリックします。

WindowsServer2003をお使いの方

［スタート］-［設定］-［ネットワーク接続］をクリックします。

❸ ［ワイヤレスネットワーク接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❹ ［インターネットプロトコル（TCP/IP)］をクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❺ IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力し、[OK] をクリックします。

- プリンタと1対1でアドホックモードで無線通信する場合、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択していてもIPアドレスを取得できません。

❻ [ワイヤレスネットワーク接続] のプロパティを閉じます。

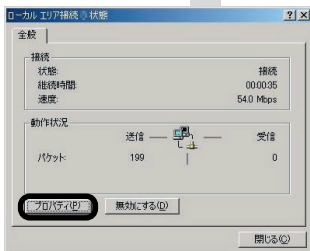
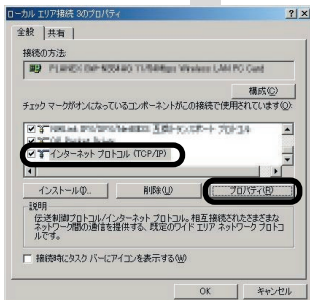
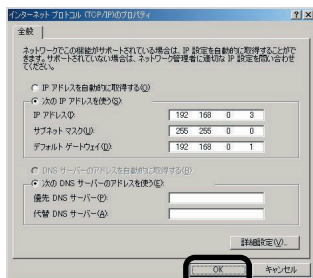
続いてワイヤレスコンピュータに無線設定を行います。(25 ページへ)

Windows2000をお使いの方

コンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

❷ [スタート] - [設定] - [ネットワーク接続とダイアルアップ] をクリックします。

❸ ご使用の無線 LAN カードの [ローカルエリア接続] をダブルクリックし、[プロパティ] をクリックします。

❹ [インターネットプロトコル (TCP/IP)] をクリックし、[プロパティ] をクリックします。

❺ IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力し、[OK] をクリックします。

・プリンタと1対1でアドホックモードで無線通信する場合、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択していてもIPアドレスを取得できません。

❻ [ローカルエリア接続] を閉じます。

続いてワイヤレスコンピュータに無線設定を行います。（25 ページへ）

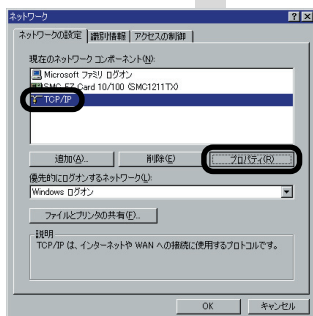
WindowsMe/98/95/NT4.0をお使いの方

WindowsNT4.0では、コンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

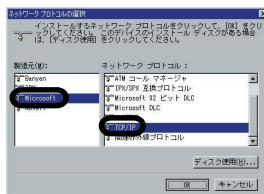
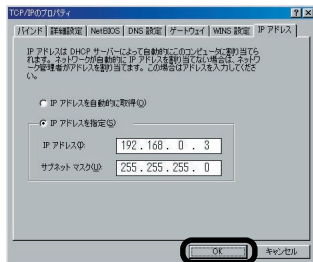
❷ [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。

❸ [ネットワーク] をダブルクリックします。
WindowsMe で [ネットワーク] が表示されていない場合は、[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する] をクリックします。

❹ [TCP/IP → ***](*** はアダプタ名)を選択し、[プロパティ] をクリックします。

[TCP/IP→*]が表示されていない場合は?**

① 「ネットワークの設定」タブの [追加] をクリックします。

② [プロトコル] を選択し、[追加] をクリックします。

③ [Microsoft] を選択して [TCP/IP] を選択し、[OK] をクリックします。

❺ ［IP アドレス］タブで IP アドレス、サブネットマスク、［ゲートウェイ］タブでゲートウェイを入力し、［OK］をクリックします。

- プリンタと1対1でアドホックモードで無線通信する場合、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択していてもIPアドレスを取得できません。

❻ Windows を再起動します。

3. ワイヤレスコンピュータに無線設定を行います

無線LANカードは工場出荷時には以下の設定になっています。ワイヤレスコンピュータに同じ設定をします。

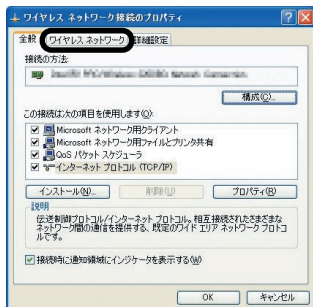
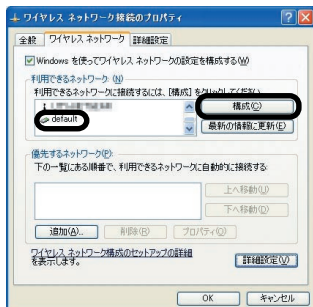
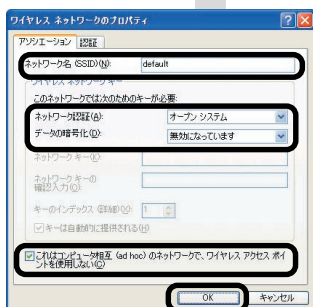
設定項目名	設定値
ネットワークタイプ	Ad-Hoc
チャンネル	1
SSID	default
認証方式	Open

- 設定項目名はお使いのユーティリティによっては異なる表現になっていることがあります。
- 周辺にSSIDが[default]に設定されている無線アクセスポイントが存在していないことを確認してください。同じSSIDが設定された無線アクセスポイントが存在していると、プリンタと接続できない場合があります。

WindowsXP/Server2003をお使いの方

- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- WindowsXP/Server2003をお使いの方で、無線LANカード付属のユーティリティを使ってワイヤレスコンピュータの無線設定を行っている場合は、そのユーティリティを使って無線設定を行ってください。

以降ではWindowsXP Home Edition Service Pack 1を例に説明します。

Service Packのバージョンによって画面のレイアウトが多少異なります。

❶ ［ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ］の［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックします。

❷［利用できるネットワーク］で［default］を選択します。

❸［構成］をクリックします。

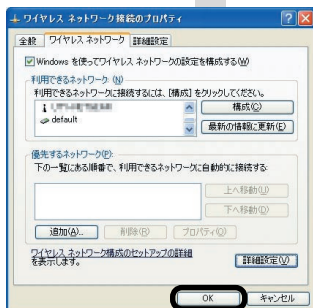
❹［ネットワーク名（SSID）］に［default］を設定します。

❺［ネットワーク認証］で［オープンシステム］を選択します。

❻［データの暗号化］で［無効になっています］を選択します。

❼［これはコンピュータ相互（ad hoc）のネットワークで、ワイヤレスアクセスポイントを使用しない］にチェックを付けます。

❽［OK］をクリックします。

❾［OK］をクリックします。

❿［ワイヤレスネットワーク接続］を閉じます。

WindowsXP/Server2003以外をお使いの方

お使いのワイヤレスコンピュータに装着されている無線LANカード付属のユーティリティを使って、ワイヤレスコンピュータの無線設定を行ってください。

4. お使いの環境に合った設定を行います

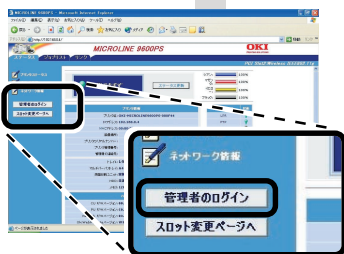
❶ Webブラウザを起動します。

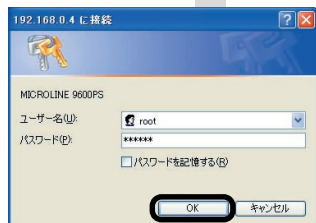
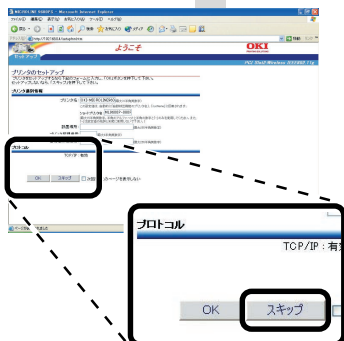
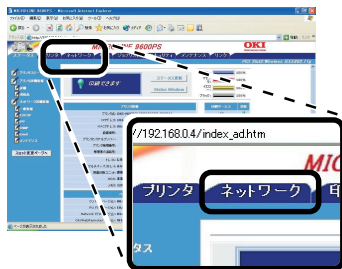
❷ ［アドレス］にURL「http://プリンタの無線LANカードのIPアドレス/」を入力し、Enterキーを押します。

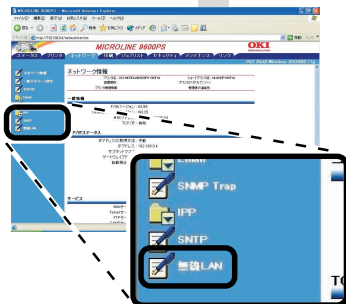
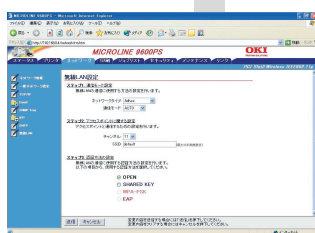
IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

（例）正しい入力値：http://192.168.0.4/
誤った入力値：http://192.168.000.004/

プリンタステータス画面が表示されます。

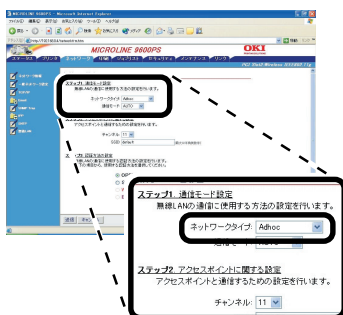
❸ ［管理者のログイン］をクリックします。

❹ ［ユーザ名］に「root」、［パスワード］に無線LANカードの現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Summary）に表示されています。

❺ ［スキップ］をクリックします。

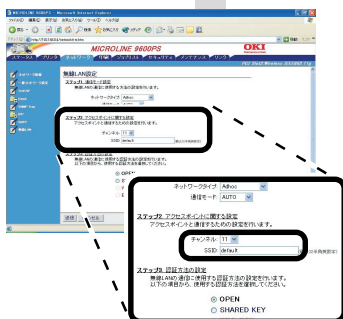
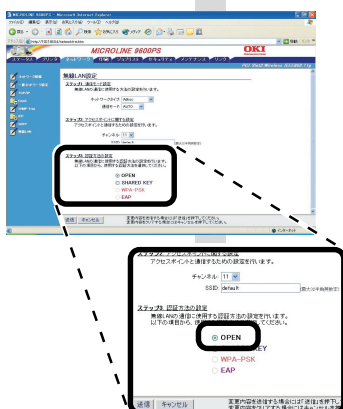
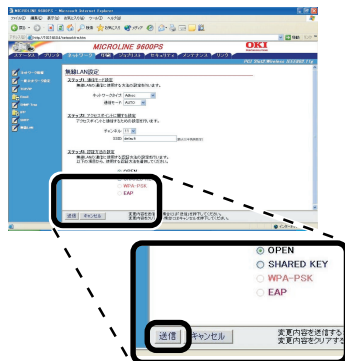
❻［ネットワーク］タブをクリックします。

❼［無線LAN］をクリックします。

左のような画面を表示します。
続いて、お使いの環境に合わせて無線設定を行います。

お使いの環境については、ネットワーク管理者に確認してください。
ご自身で設定する場合は、「無線LAN接続について」（44ページ）を参考にしてください。

無線LANネットワーク	セキュリティ	設定手順
アドホックモード	Open	29ページをご覧ください
	Shared Key	31ページをご覧ください
インフラストラクチャモード	Open	33ページをご覧ください
	Shared Key	35ページをご覧ください
	WPA-PSK	37ページをご覧ください
	EAP	39ページをご覧ください

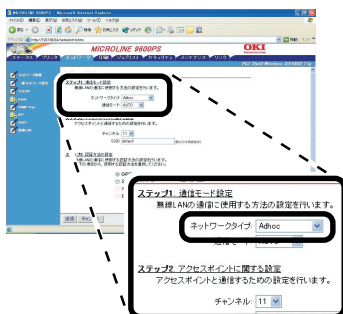
アドホックモードでセキュリティの設定が Open の場合

❶「ステップ 1」で［ネットワークタイプ］に［Ad-Hoc］を設定します。

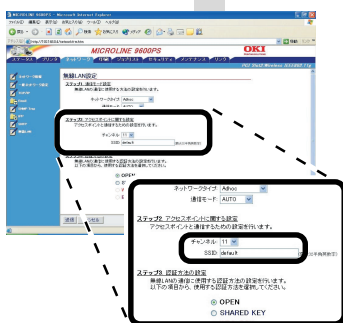
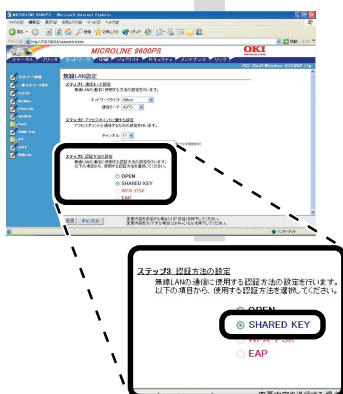
［通信モード］は通常、初期設定のままお使いください。

❷「ステップ2」で［チャンネル］と［SSID］を設定します。接続するワイヤレスコンピュータと同じ設定にしてください。

❸「ステップ 3」で認証方法に［Open］を設定します。

❹［送信］をクリックします。

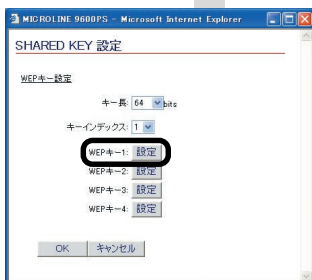
新しい設定が無線 LAN カードに反映されます。

そのため、設定に使用しているワイヤレスコンピュータとの無線接続は切断されます。

アドホックモードでセキュリティの設定が Shared Key の場合

❶「ステップ 1」で［ネットワークタイプ］に［Ad-Hoc］を設定します。

［通信モード］は通常、初期設定のままお使いください。

❷「ステップ2」で［チャンネル］と［SSID］を設定します。接続するワイヤレスコンピュータと同じ設定にしてください。

❸「ステップ 3」で認証方法の［Shared Key］をクリックします。

「Shared Key 設定」画面が表示されます。

❹［キー長］を設定します。

❺［キーインデックス］を設定します。

❻手順❺で設定した［キーインデックス］に対応したWEP キーを設定します。

例えば、［キーインデックス］で［1］を選択した場合は、［WEPキー1］の［設定］ボタンをクリックします。

「WEP キー設定」画面が表示されます。

❼WEP キーを入力し、［OK］をクリックします。

WEPキーの入力形式はASCII形式（文字形式）かHEX形式（16進形式）のどちらか一方を選択できます。
ASCII形式の場合、英数字で入力できます。
HEX形式の場合、0～9の数字とA～Fの英字で入力できます。
入力文字数は、［キー長］により以下のようになります。

キー長	64bits	128bits
ASCII入力	5文字	13文字
HEX入力	10文字	26文字

［キー長］、［キーインデックス］、［WEPキー］は接続するワイヤレスコンピュータと同じ設定にしてください。

❽［OK］をクリックします。

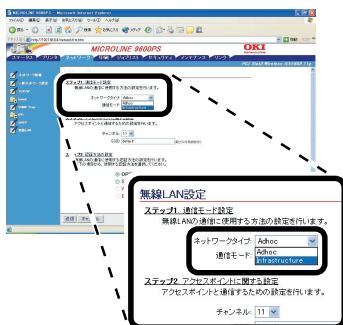
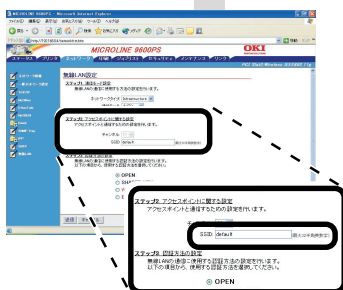
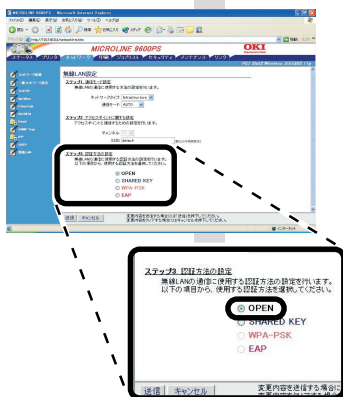
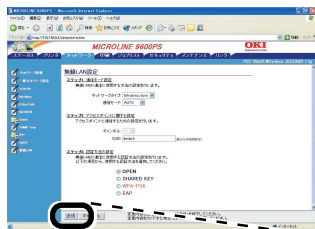
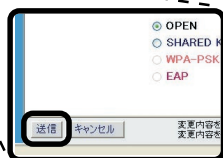
❾［送信］をクリックします。

新しい設定が無線LAN カードに反映されます。

そのため、設定に使用しているワイヤレスコンピュータとの無線接続は切断されます。

インフラストラクチャモードでセキュリティの設定がOpenの場合

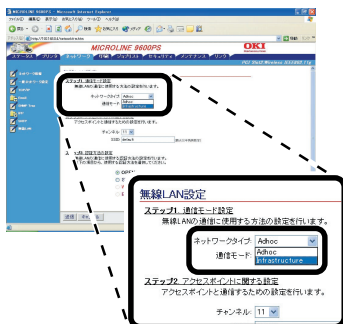
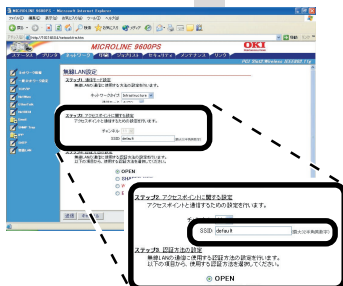
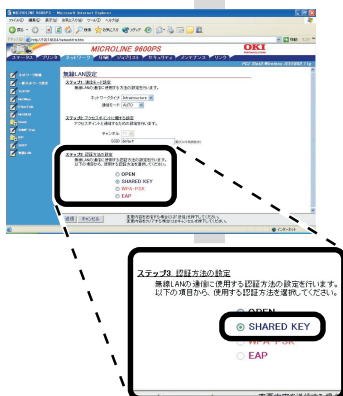
❶「ステップ 1」で［ネットワークタイプ］に［Infrastructure］を設定します。

［通信モード］は通常、初期設定のままお使いください。

❷「ステップ 2」で［SSID］を設定します。
お使いのアクセスポイントに合わせて設定してください。

❸「ステップ 3」で認証方法に［Open］を設定します。

❹［送信］をクリックします。

新しい設定が無線LANカードに反映されます。

そのため、設定に使用しているワイヤレスコンピュータとの無線接続は切断されます。

インフラストラクチャモードでセキュリティの設定がShared Keyの場合

❶「ステップ 1」で［ネットワークタイプ］に［Infrastructure］を設定します。

［通信モード］は通常、初期設定のままお使いください。

❷「ステップ 2」で［SSID］を設定します。
お使いのアクセスポイントに合わせて設定してください。

❸「ステップ 3」で認証方法の［Shared Key］をクリックします。

「Shared Key 設定」画面が表示されます。

❹［キー長］を設定します。

❺［キーインデックス］を設定します。

❻ 手順 ❺ で設定した［キーインデックス］に対応したWEP キーを設定します。

例えば、[キーインデックス]で[1]を選択した場合は、[WEPキー1]の[設定]ボタンをクリックします。

「WEP キー設定」画面が表示されます。

❼ WEP キーを入力し、[OK] をクリックします。

ASCII形式（文字形式）かHEX形式（16進形式）のどちらか一方を選択できます。
ASCII形式の場合、英数字で入力できます。
HEX形式の場合、0〜9の数字とA〜Fの英字で入力できます。
入力文字数は、[キー長]により以下のようになります。

キー長	64bits	128bits
ASCII入力	5文字	13文字
HEX入力	10文字	26文字

[キー長]、[キーインデックス]、[WEPキー]はお使いのアクセスポイントと同じ設定にしてください。

❽［OK］をクリックします。

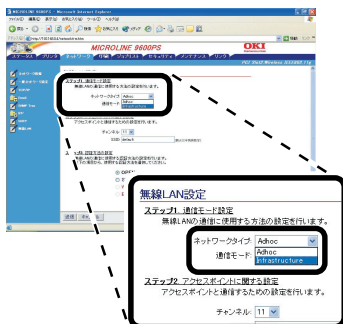
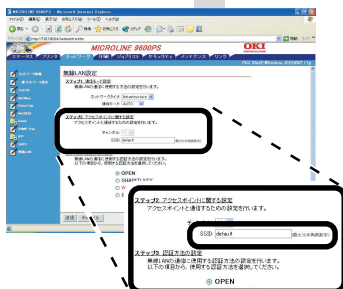
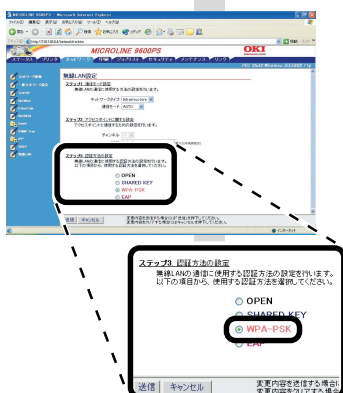
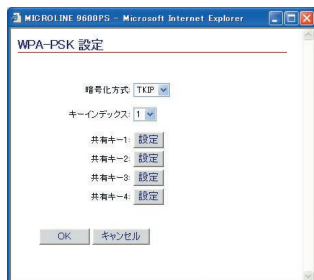
❾［送信］をクリックします。

新しい設定が無線 LAN カードに反映されます。

そのため、設定に使用しているワイヤレスコンピュータとの無線接続は切断されます。

インフラストラクチャモードでセキュリティの設定がWPA-PSKの場合

❶「ステップ1」で［ネットワークタイプ］に［Infrastructure］を設定します。

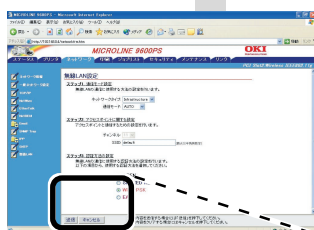
［通信モード］は通常、初期設定のままお使いください。

❷「ステップ2」で［SSID］を設定します。
お使いのアクセスポイントに合わせて設定してください。

❸「ステップ3」で認証方法の［WPA-PSK］をクリックします。

「WPA-PSK設定」画面が表示されます。

❹［キーインデックス］を設定します。

❺手順❹で設定した［キーインデックス］に対応した共有キー（Pre-Shared key）の［設定］をクリックします。

例えば、[キーインデックス]で[1]を選択した場合は、[共有キー1]の[設定]をクリックします。

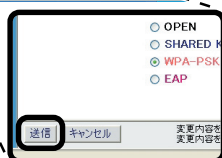
「WPA-PSK 共有キー設定」画面が表示されます。

❻共有キー（Pre-Shared key）を入力し、［OK］をクリックします。

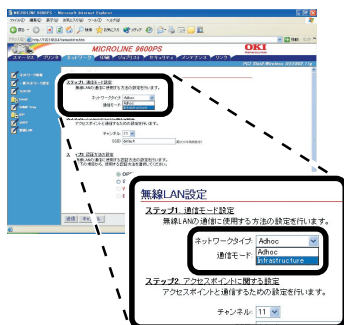
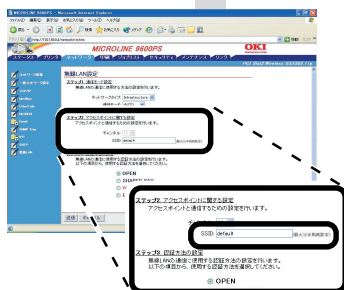
注 共有キーは8文字以上入力する必要があります。

❼［OK］をクリックします。

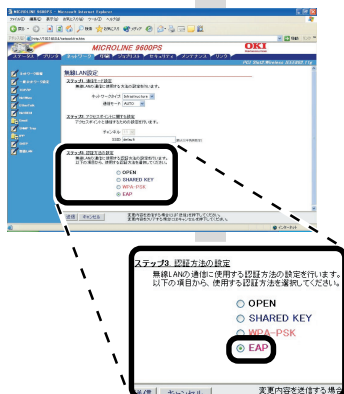
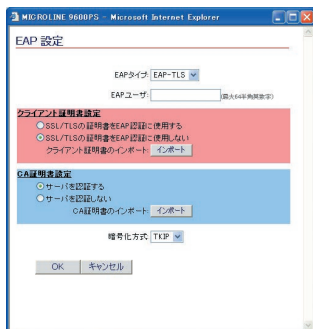
❽［送信］をクリックします。

新しい設定が無線LANカードに反映されます。

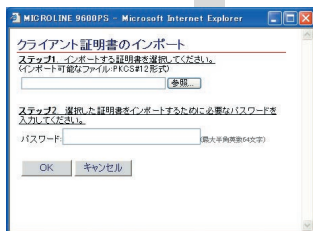
そのため、設定に使用しているワイヤレスコンピュータとの無線接続は切断されます。

インフラストラクチャモードでセキュリティの設定がEAPの場合

❶「ステップ 1」で［ネットワークタイプ］に［Infrastructure］を設定します。

［通信モード］は通常、初期設定のままお使いください。

❷「ステップ 2」で［SSID］を設定します。
お使いのアクセスポイントに合わせて設定してください。

❸「ステップ 3」で認証方法の［EAP］をクリックします。

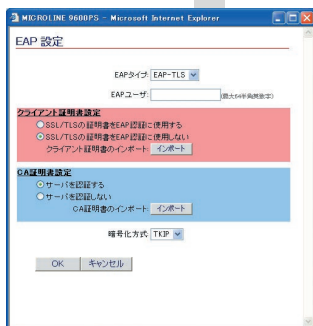
「EAP 設定」画面が表示されます。

❹［EAP ユーザ］を設定します。

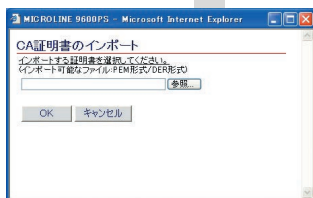
❺「SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用しない」にチェックし、［クライアント証明書のインポート］をクリックします。

「クライアント証明書のインポート」画面が表示されます。

❻［ステップ 1］でクライアント証明書ファイル名を入力します。

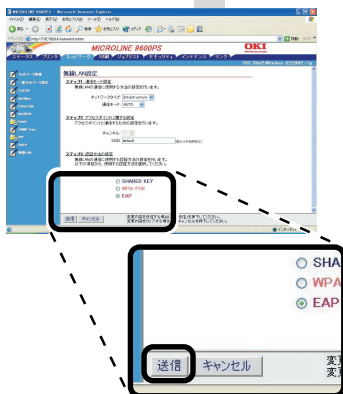
注 インポート可能な証明書の形式はPKCS#12形式です。

❼［ステップ 2］でクライアント証明書をインポートするためのパスワードを入力します。

❽［OK］をクリックします。
証明書ファイルのインポートが行われます。

❾［サーバを認証する］にチェックし、［CA 証明書のインポート］をクリックします。

「CA 証明書のインポート」画面が表示されます。

❿ RADIUS サーバを認証するための信頼する CA の証明書ファイル名を入力します。

メモ ［CA証明書］にはRADIUSサーバの証明書を発行した認証局の 証明書をインポートします。

注 インポート可能な証明書の形式はDER形式またはPEM形式です。

⓫［OK］をクリックします。
証明書ファイルのインポートが行われます。

⓬［OK］をクリックします。

⓭［送信］をクリックします。

新しい設定が無線LANカードに反映されます。

そのため、設定に使用しているワイヤレスコンピュータとの無線接続は切断されます。

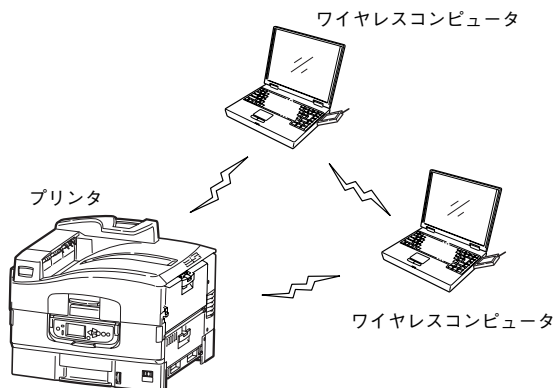
4 知っていると便利です

無線LAN接続について

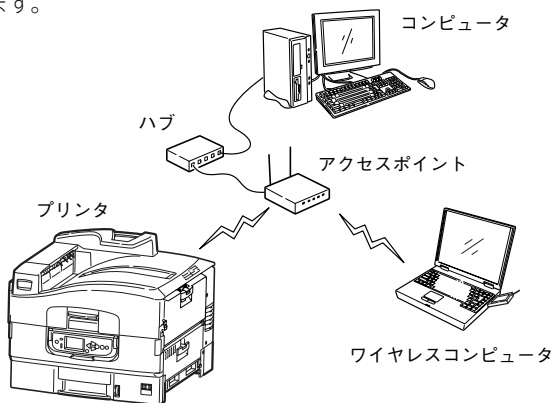
アドホックモードとインフラストラクチャモード

無線LAN接続にはアドホックモードとインフラストラクチャモードがあります。

アドホックモード

アドホックモードの無線LANネットワークではプリンタとワイヤレスコンピュータとがアクセスポイントを経由せず、直接通信します。

【アドホックモードでの無線LAN】

インフラストラクチャモード

インフラストラクチャモードの無線LANネットワークでは全ての無線通信がアクセスポイントを経由します。

【インフラストラクチャモードでの無線LAN】

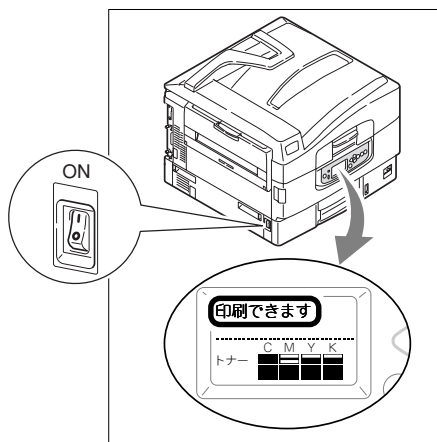
セキュリティ機能

無線LANセキュリティとしてIEEE802.11b / g 標準のWEP機能、及びWPA準拠の機器と通信可能な次のような機能を持っています。お使いの無線LANネットワークのセキュリティ設定に合わせて設定します。

本製品はWi-Fi認定は取得しておりません。本製品はWi-Fi準拠機器との接続性を保証するものではありません。

セキュリティ設定	内　容
Open	オープンシステム認証を行います。このモードでは認証も暗号化も行われません。 このモードでの使用は、無線LAN通信を盗聴されたり不正使用されたりする恐れがあります。
Shared Key	同じWEPキーの設定されたアクセスポイントまたはワイヤレスコンピュータとのみ通信できます。通信はWEP方式により暗号化されています。本製品は64(40)bitsと128(104)bitsの長さのWEPキーに対応しています。WEPキーの設定が必要です。
WPA-PSK	Pre-Shared Key(事前共有鍵)による認証とTKIP方式による暗号化が行われます。Pre-Shared Keyの設定が必要です。 Shared Keyモードよりも強固な暗号化が行われます。 WPA準拠のアクセスポイントと通信可能です。 注 アドホックモードでは選択できません。
EAP	IEEE802.1X/EAP規格による認証を行います。また、TKIP方式による暗号化が行われます。 アクセスポイントの他に、認証サーバ(RADIUSサーバ)が必要です。別途ご用意ください。 本機種では認証方法として「EAP-TLS」に対応しています。 EAPユーザの設定と、プリンタの電子証明書のインポートが必要です。 電子証明書を用いた強力な認証と暗号化が行われます。 WPA準拠のアクセスポイントと通信可能です。 注 アドホックモードでは選択できません。

無線LANカードのネットワークの設定情報(Network Information)を印刷します

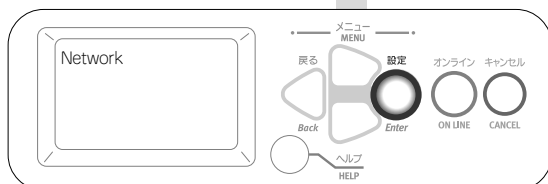
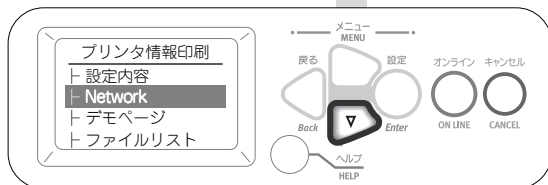
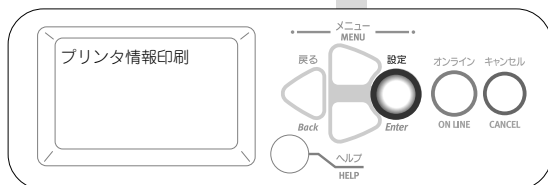
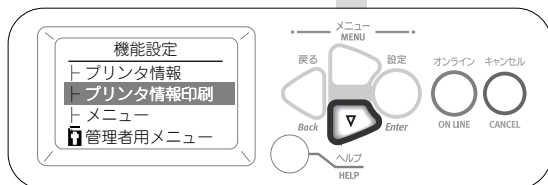
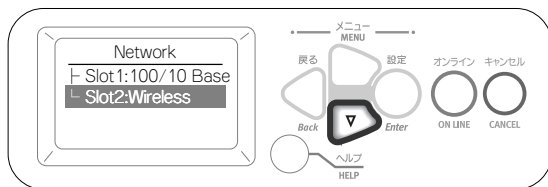
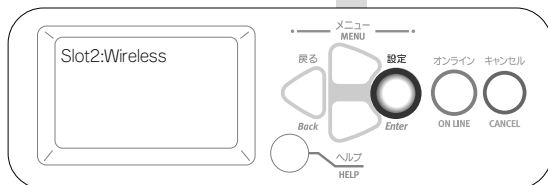
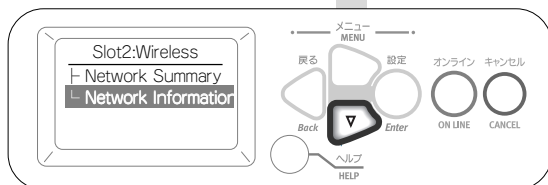
手順(❶から⓫まであります。)

❶ 電源スイッチのオン(I)を押します。

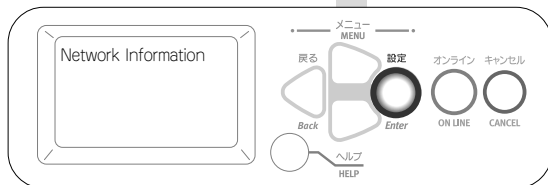
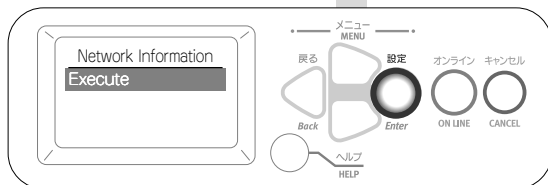
❷ 操作パネルに[印刷できます]と表示したことを確認します。

❸ ▽ボタンを押し、[プリンタ情報印刷]を表示させます。

❹ ○設定ボタンを押します。

❺ ▽ボタンを押し、[Network]を表示させます。

❻ ○設定ボタンを押します。

❼ ボタンを数回押し、[Slot2:Wireless］を選択します。

❽ 設定ボタンを押します。

❾ ボタンを数回押し、[Network Information］を選択します。

❿ 設定ボタンを押します。

⓫ 設定ボタンを押します。

ネットワークの設定情報が印刷開始されます。

4

知っていると便利です

Network Informationの印刷例

PCI Slot2:Wireless IEEE802.11g
1 of 3 sheets

Network Information

PCI Slot2:Wireless IEEE802.11g

Structure — PCI Slot1: 100/10 Base Wired Ethernet
PCI Slot2: Wireless IEEE802.11g

Printer Information

Printer Name	OKI-MICROLINE9600PS-080F44
Short Printer Name	ML9600P-080F44
Printer Location	
Printer Serial Number	
Printer Asset Number	
Contact of Printer Administrator	

General Information

Network Function Name	MLETB14w	Firmware Version	03.AE
		Web Remote	W3.40
MAC Address	00:80:92:08:0F:44	Wireless FW / ID	00.20 / 01000403 00 314C434C

	Authentication Status	OK(Open)
	Link Quality / Signal Strength	79% / 79%
Network Status	Unicast Packets Received	26
	Packets Transmitted	33
	Total Packets Received	28
	Unsendable Packets	0
	Bad Packets Received	0
TCP/IP Protocol	Enable	

TCP/IP Configuration

IP Address Set	MANUAL		
IP Address	192.168.0.4	Web Address	http://192.168.0.4
Subnet Mask	255.255.255.0		
Default Gateway	192.168.0.1		
WINS Server (Primary)	0.0.0.0	DNS Server (Primary)	0.0.0.0
WINS Server (Secondary)	0.0.0.0	DNS Server (Secondary)	0.0.0.0
WINS Registration Status	Registration is not performed.		
Scope ID			
DefaultTTL	255		

Auto Discovery

Windows(Network Plug and Play)	Enable
Macintosh(Rendezvous)	Enable
Printer Name(Printer is identified by this name.)	OKI-MICROLINE9600PS-080F44

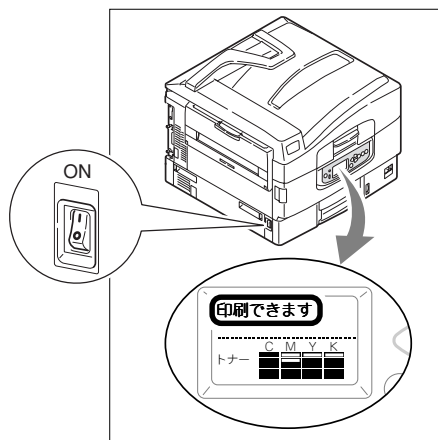
If your computer can not connect this printer with the browser, set the computer as follows.
Step1:Set IP address of your computer to 192.168.0.xxx
(xxx:exclude 0,254,255 and printer IP address 4 .)
How to set the IP address of the computer?
See the manual of your computer.
Step2:Connect the browser.
Input the Web address to URL field of the browser as follows. http://192.168.0.4
If you will access the local address,set the proxy server setting to disable.

操作パネルから無線LAN設定を初期化します

無線LAN設定のみを初期値にします。

メモ

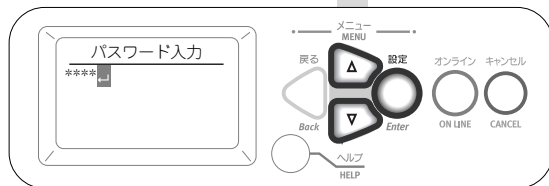
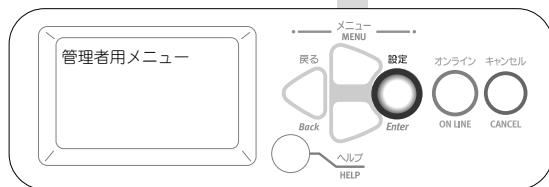
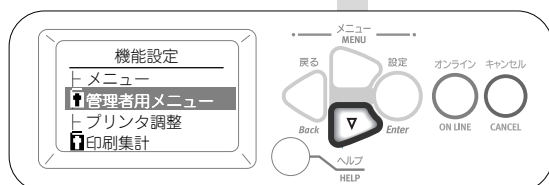
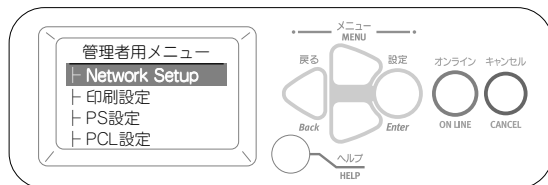
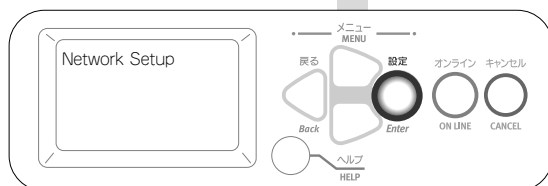
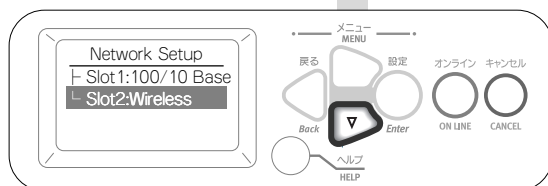
- 無線LAN設定を初期化しても、IPアドレスなどのほかのネットワーク設定は初期化されません。
- 無線LAN設定を含むネットワーク設定全体を工場出荷時設定へ初期化するには「無線LANカードを初期化する」(14ページ)をご覧ください。

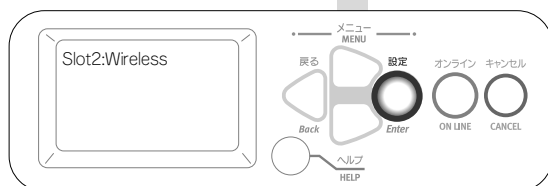
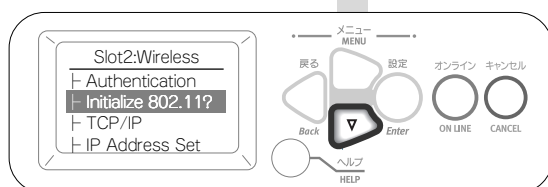
手順（❶から⓫まであります。）

❶ 電源スイッチのオン（I）を押します。

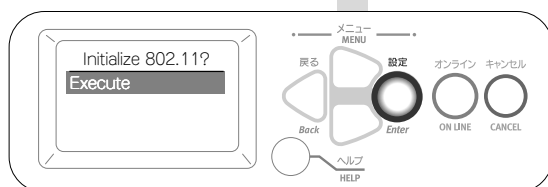
❷ 操作パネルに［印刷できます］と表示したことを確認します。

❸ ▽ボタンを押し、［管理者用メニュー］を表示させます。

❹ ◯ 設定ボタンを押します。

❺ △, ▽ボタンで数字を選び、◯ 設定ボタンを押すと次の桁に移ります。
パスワードは４桁あります。
最後に◯設定ボタンを押します。

❻ [Network Setup] と表示していることを確認します。

❼ 設定ボタンを押します。

❽ ▽ボタンを数回押し、[Slot2:Wireless] を選択します。

❾ 設定ボタンを押します。

❿ ▽ボタンを数回押し、[Initialize 802.11?] を選択します。

⓫ 設定ボタンを押します。

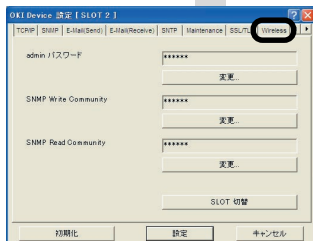
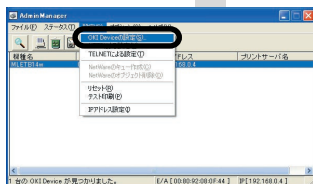
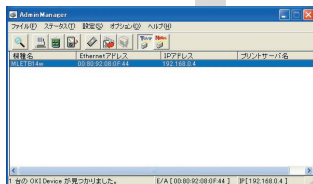
無線LAN設定の初期化が行われます。

4

知っていると便利です

メモ　無線LAN設定を工場出荷時設定に初期化すると以下の設定で動作します。

項　目	設定値
ネットワークタイプ	Ad-Hoc
チャンネル	1
SSID	default
認証方式	Open

AdminManagerで無線LANカードの設定をします

❶ AdminManager を起動します。

AdminManagerの起動方法は、プリンタ本体のユーザーズマニュアル「応用編」の「AdminManagerを使って…」をご覧ください。

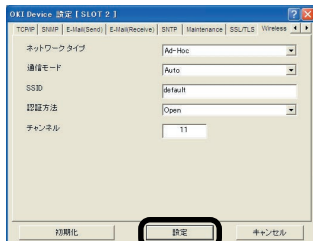
❷ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定するプリンタを選択します。
機種名には、ML9600PS の代わりに MLETB14w と表示されます。

- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（48ページ参照）
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合は、サーバから取得したIPアドレスが表示されます。

❸ ［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選択します。

❹ ［パスワード入力］に無線LANカードの現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
- パスワードを入力すると、画面上では[******]と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字小文字を正しく入力してください。

❺ ［Wireless］タブを選択します。

❻ 必要な無線LAN設定を入力し、[設定] をクリックします。

注 もし、通信エラーが発生した場合は、プリンタを再起動して、設定を再確認してください。

❼ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

❽ 新しい設定値を有効にするため、[はい] をクリックします。

この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

❾ AdminManagerを終了します。

TELNETで無線LANカードの設定をします

プリンタの設定ができます。

設定方法

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: Windows2000 Professional
プリンタ	: ML9600PS
IPアドレス	: 192.168.0.4
イーサネットアドレス	: 00:80:92:08:0F:44

イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。

❶ Windows のコマンドプロンプトを起動します。

❷ ping コマンドで接続を確認します。

```
C:¥WINDOWS> ping 192.168.0.4
```

❸ TELNET でプリンタに接続します。

注 ユーザ名は「root」または「admin」、パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。

```
telnet  192.168.0.4
Trying 192.168.0.4 ...
Connected to 192.168.0.4
Escape character is '^]'
WirelessBoard MLETB14w Ver 03.89 TELNET server.

login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No. M E N U (level.1)    slot2 : wireless IEEE802.11g
---------------------------------------------------------
 1 : Status / Information
 2 : Printer Config
 3 : Network Config
 4 : Security Config
 5 : Maintenance
99 : Exit setup
Please select(1-99)?
```

メモ
ML9600PSは「MLETB14w」と表示されます。

❹ 変更する項目の番号を入力し、「Enter」キーを押します。

無線LAN設定を変更するには以下のようにします。

❺「3」を入力し、「Enter」キーを押します。

```
 No. M E N U (level.1)    slot2 : wireless IEEE802.11g
---------------------------------------------------------
 1 : Status / Information
 2 : Printer Config
 3 : Network Config
 4 : Security Config
 5 : Maintenance
99 : Exit Setup

Please select(1-99)? 3

 No. M E N U (level.2)    slot2 : wireless IEEE802.11g
---------------------------------------------------------
 1 : Common
 2 : TCP/IP
 6 : SNMP Trap
 7 : E-Mail Send
 8 : E-Mail Receive
 9 : SNTP
10 : Wireless Settings
99 : Back to prior menu
Please select(1-99)?
```

❻「10」を入力し、「Enter」キーを押します。

```
Please select(1-99)? 10

 No. M E N U (level.3)    slot2 : wireless IEEE802.11g
---------------------------------------------------------
 1 : Network Type              : Ad-Hoc
 2 : Communication Mode        : Auto
 3 : Channel                   : 11
 4 : SSID                      : "default"
 5 : Authentication            : Open
 6 : WEP
 7 : EAP
 8 : WPA-PSK
99 : Back to prior menu
Please select(1-99)?
```

❼ 各項目を設定します。

注 無線LAN設定を変更すると、無線通信ができなくなることがあります。お使いのアクセスポイントやワイヤレスコンピュータの設定に合わせて、慎重に設定してください。

❽「99」を入力し、「Enter」キーを押す操作を何回か繰り返し、「Exit Setup」メニューを表示します。

❾「1」を入力し、「Enter」キーを押します。

```
Exit Setup
 1 : Save and Reset
 2 : Exit without Saving
99 : Back to prior menu
Please select(1-99)? 1
```

新しい設定がプリンタに送信されます。

設定項目

Wireless Setting 設定画面

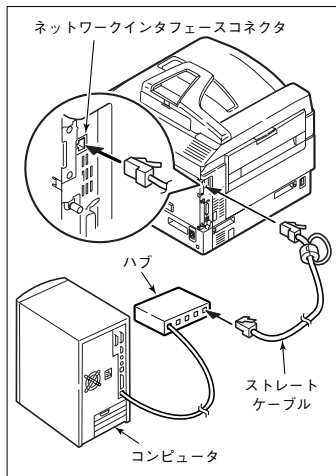
```
Please select(1-99)? 10
 No. M E N U (level.3)    slot2 : wireless IEEE802.11g
---------------------------------------------------------
 1 : Network Type                : Ad-Hoc
 2 : Communication Mode          : Auto
 3 : Channel                     : 11
 4 : SSID                        : "default"
 5 : Authentication              : Open
 6 : WEP
 7 : EAP
 8 : WPA-PSK
99 : Back to prior menu
Please select(1-99)?
```

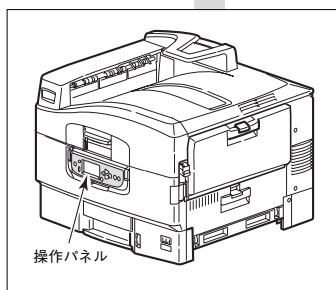
```
Please select(1-99)? 6
 No. M E N U (level.4)    slot2 : wireless IEEE802.11g
---------------------------------------------------------
 1 : Key Size                    : 64
 2 : Key Index                   : 1
 3 : WEP Key 1                   :
 4 : WEP Key 2                   :
 5 : WEP Key 3                   :
 6 : WEP Key 4                   :
99 : Back to prior menu
Please select(1-99)?
```

```
Please select(1-99)? 7
 No. M E N U (level.4)    slot2 : wireless IEEE802.11g
---------------------------------------------------------
 1 : EAP Type                    : EAP-TLS
 2 : EAP User                    :
 3 : Encryption                  : TKIP
 4 : Use SSL Certificate         : No
 5 : Authenticate Server         : No
99 : Back to prior menu
Please select(1-99)?
```

```
Please select(1-99)? 8
 No. M E N U (level.4)    slot2 : wireless IEEE802.11g
---------------------------------------------------------
 1 : Encryption                  : TKIP
 2 : Key Index                   : 1
 3 : Pre-Shared Key 1            :
 4 : Pre-Shared Key 2            :
 5 : Pre-Shared Key 3            :
 6 : Pre-Shared Key 4            :
99 : Back to prior menu
Please select(1-99)?
```

その他の設定項目については、「無線LANカードの設定項目一覧」(61ページ)をご覧ください。

有線LAN接続を使って無線LANカードの設定をします

❶ 有線LAN接続でプリンタとコンピュータを接続します。

有線LAN接続のしかたは、プリンタ本体のユーザーズマニュアル「プリンタ機能編」の「接続のしかた」をご覧ください。

❷ プリンタの操作パネルから有線LANインタフェースにIPアドレスを設定します。

プリンタ本体のユーザーズマニュアル「Windows編」の「プリンタにIPアドレスを設定する」をご覧ください。

❸ コンピュータにIPアドレスを設定します。

プリンタ本体のユーザーズマニュアル「Windows編」の「コンピュータにIPアドレスを設定する」をご覧ください。

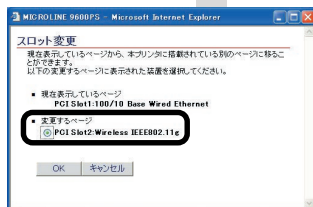
❹ Webブラウザを起動します。

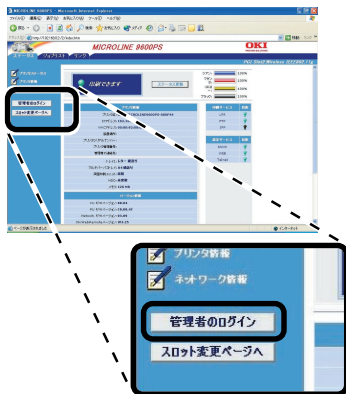
❺［アドレス］にURL「http://プリンタの有線LANインタフェースのIPアドレス/」を入力し、Enterキーを押します。

IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
（例） 正しい入力値：http://192.168.0.2/
誤った入力値：http://192.168.000.002/

プリンタステータス画面が表示されます。

❻［スロット変更ページへ］ボタンをクリックします。

❼「スロット変更」ページで［PCI Slot2 : Wireless IEEE802.11g］にチェックを付け、［OK］ボタンをクリックします。

プリンタステータス画面（無線LANカード）が表示されます。

❽「管理者のログイン」ボタンをクリックします。

❾［ユーザ名］に「root」、［パスワード］に無線LANカードの現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。

ここで入力するパスワードは無線LANカードのパスワードです。
イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

❿ 以降は、「お使いの環境に合った設定を行います」（27ページ）の手順❺以降と同様の手順で無線LAN設定を行います。

Macintoshで使いたいときには

本製品はEtherTalkをサポートしておりません。

Mac OS X 10.2以降をお使いの場合はRendezvousを利用して印刷することができます。
Rendezvousを利用する方法は、プリンタ本体のユーザーズマニュアル「セットアップ編ー Macintosh、Unix、Linuxをお使いの方ー」の「Rendezvousを利用します」をご覧ください。

無線LANカードの設定項目一覧

無線LANカードで設定できる項目の一覧を示します。
現在設定されている値は、ネットワークの設定情報(Network Information)で確認できます。

Wireless Setting

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
Network Type	ネットワークタイプ	ネットワークタイプ	Ad-Hoc Infrastructure	Ad-Hoc： コンピュータとプリンタが直接通信します。(アドホックモード) Infrastructure： プリンタはアクセスポイントを経由してコンピュータと通信します。(インフラストラクチャモード)
Communication mode	通信モード	通信モード	Auto 802.11b	使用する無線通信規格を設定します。 Auto：802.11bと802.11gを自動的に選択します。通常はAuto設定でお使いください。 802.11b：802.11bのアクセスポイントとのみ通信します。
Channel	チャンネル	チャンネル	1 ～ 13	アドホックモードで使用するチャンネルを設定します。 [ネットワークタイプ]が[Infrastructure]の場合はこの設定は使用されません。
SSID	SSID	SSID	default	参加する無線ネットワークを識別するためのSSIDを設定します。
Authentication	認証方法	認証方法	Open SharedKey WPA-PSK EAP	認証方式を設定します。 「セキュリティ機能」(45ページ)を参照してください。 [ネットワークタイプ]が[Ad-Hoc]に設定されている場合は、[Open]と[SharedKey]のみ設定可能です。

WEP

網かけ部は初期値です。

<table>
<tr><th colspan="3">項　目</th><th rowspan="2">設定値</th><th rowspan="2">機能説明</th></tr>
<tr><th>TELNET</th><th>Web ブラウザ</th><th>AdminManager Setup Utility</th></tr>
<tr><td>Key Size</td><td>キー長</td><td>Keyサイズ</td><td>64 bits
128 bits</td><td>WEPキーの長さを設定します。</td></tr>
<tr><td>Key Index</td><td>キーインデックス</td><td>キーインデックス</td><td>1
⁝
4</td><td>使用するWEPキーを設定します。</td></tr>
<tr><td>WEP Key #1-4</td><td>WEPキー#1 -4</td><td>キー1 - 4</td><td>なし</td><td>WEPキーを設定します。
ASCIIモードとHEXモードのどちらかで入力ができます。
Key Sizeの設定により入力文字数が異なります。<table><tr><td>キー長</td><td>64bits</td><td>128bits</td></tr><tr><td>ASCII入力</td><td>5文字</td><td>13文字</td></tr><tr><td>HEX入力</td><td>10文字</td><td>26文字</td></tr></table>ASCII入力の場合、半角英数字を入力可能です。
HEX入力の場合、0~9, A~Fを入力可能です。</td></tr>
</table>

お使いのコンピュータ、アクセスポイントによっては、WEPキーサイズ64bitsを40bits、128bitsを104bitsと表現していることがあります。

WPA-PSK

網かけ部は初期値です。

<table>
<tr><th colspan="3">項　目</th><th rowspan="2">設定値</th><th rowspan="2">機能説明</th></tr>
<tr><th>TELNET</th><th>Web ブラウザ</th><th>AdminManager Setup Utility</th></tr>
<tr><td>Encryption</td><td>暗号化方式</td><td>暗号化方式</td><td>TKIP</td><td>使用する暗号方式を設定します。
機種によって選択できる設定値が異なる場合があります。</td></tr>
<tr><td>Key Index</td><td>キーインデックス</td><td>キーインデックス</td><td>1
⁝
4</td><td>使用する事前共有鍵(Pre-Shared Key)を設定します。</td></tr>
<tr><td>Pre-Shared Key #1- 4</td><td>共有キー #1 - 4</td><td>共有キー 1 - 4</td><td>なし</td><td>事前共有鍵(Pre-Shared Key)を設定します。
最低8文字以上を設定する必要があります。</td></tr>
</table>

EAP

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager Setup Utility		
EAP Type	EAPタイプ	EAPタイプ	EAP-TLS	使用するEAPタイプを設定します。 機種によって選択できる設定値が異なる場合があります。 EAP-TLSでは、証明書のインストールが必要です。
EAP User	EAPユーザ	EAPユーザ	なし	EAPで使用するユーザを設定します。
Use SSL Certificate	SSL/TLSの証明書をEAP認証に使用する	SSL/TLSの証明書をEAP認証に使用する	YES NO	EAP認証にSSL/TLS用にインポートされた証明書を使用するかどうかを設定します。 SSL/TLS用の証明書に付いては、プリンタ本体のユーザーズマニュアル「応用編」の「通信を暗号化する」をご覧ください。
Authenticate Server	サーバを認証する	サーバを認証する	YES NO	RADIUSサーバの証明書を認証するかどうかを設定します。 RADIUSサーバの証明書を認証するためには、証明書の発行CA（認証局）の証明書のインポートが必要です。
Encryption	暗号化方式	暗号化方式	TKIP	EAPで使用する暗号方式を設定します。 機種によって選択できる設定値が異なる場合があります。
－	クライアント証明書のインポート	クライアント証明書インポート	－	EAP認証用の証明書ファイルをインポートします。 インポート可能なファイル形式はPKCS#12です。
－	パスワード	パスワード	－	クライアント証明書をインポートするときに必要なパスワードを入力します。
－	クライアント証明書の削除	クライアント証明書削除	－	EAP認証用のクライアント証明書を削除します。
－	CA証明書のインポート	CA証明書　インポート	－	RADIUSサーバの認証に使用する信頼するCA証明書ファイルをインポートします。 インポート可能なファイル形式はDER形式とPEM形式です。
－	CA証明書の削除	CA証明書　削除	－	CA証明書を削除します。

TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
TCP/IP Protocol	TCP/IP	TCP/IPプロトコルを使用する	TCP/IPプロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	TCP/IP プロトコルの使用／非使用を設定します。
IP Address	IPアドレス	IPアドレス	IPアドレス	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスク	サブネットマスク	サブネットマスク	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。
Default Gateway	ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイ	192.168.100.254	ゲートウェイ（デフォルトルータ）アドレスを設定します。0.0.0.0 はルータなしを意味します。
RARP Protocol	RARP	RARPを使用する	RARPを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	RARPサーバへIPアドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
DHCP/BOOTP Protocol	DHCP/BOOTP	DHCP/BOOTPを使用する	DHCP/BOOTPを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	DHCP/BOOTPサーバへIPアドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
DNS Server (Pri.)	DNSサーバアドレス（プライマリ）	プライマリサーバ	－	0.0.0.0	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS Server (Sec.)	DNSサーバアドレス（セカンダリ）	セカンダリサーバ	－	0.0.0.0	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
WINS Server (Sec.)	WINSサーバ（セカンダリ）	セカンダリサーバ	－	0.0.0.0	Windows環境で、ネームサーバ（コンピュータ名からIPアドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバのIPアドレスまたはネームサーバ名を設定します。
WINS Scope ID	スコープID	スコープID	－	なし	WINSのScopeIDを設定します。1～223文字の英数字です。

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Network PnP	自動検出機能 Windows (ネットワーク・プラグ・アンド・プレイ使用)	Network PnPを使用する	―	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	Windowsの自動検出機能の使用／非使用を設定します。
Rendez-vous	自動検出機能 Macintosh Rendezvous使用)	Rendezvous 使用する	―	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	Macintoshの自動検出機能の使用／非使用を設定します。
Printer Name	プリンタ名	プリンタ名	―	「OKI」+「-」+「製品名」+「-」+「イーサネットアドレス下6桁」	自動検出機能で、プリンタ名をコンピュータにどのように表示させるかを設定します。
Password	パスワード設定	adminパスワード	rootパスワード	イーサネットアドレス下6桁	管理者パスワードを変更します。15文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。

SNMP

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Contact to Admin	管理者の連絡先	SysContact	SysContact	なし	システム管理者の連絡先を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
Master Printer Name	プリンタ名	SysName	SysName	なし	プリンタの名前を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
Printer Location	設置場所	SysLocation	SysLocation	なし	プリンタの設置場所を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
Printer Asset Number	プリンタ管理番号	―	―	なし	お客様がプリンタを管理するための数値を入力することができます。半角で8文字以内です。

Printer trap

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Prn-Trap Community	プリンタTrapコミュニティ名設定	プリンタTrapコミュニティ名	–	public	プリンタTrapのコミュニティ名を設定します。31文字以内の英数字です。
TCP #1-5 Trap Enable	Trap送信許可 #1-5	TCP #1-5 Printer Trap を有効にする	–	ENABLE DISABLE	TCP #1-5でプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Printer Reboot Trap	プリンタ再起動 #1-5	TCP #1-5 プリンタリブート	–	ENABLE DISABLE	プリンタが再起動したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Receive Illegal Trap	不正Trap受信 #1-5	TCP #1-5 受信異常	–	ENABLE DISABLE	「プリンタTrapコミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときにSNMPメッセージを送信するかどうか設定します。
TCP #1-5 Online Trap	オンライン #1-5	TCP #1-5 オンライン	–	ENABLE DISABLE	プリンタがON-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Offline Trap	オフライン #1-5	TCP #1-5 オフライン	–	ENABLE DISABLE	プリンタがOFF-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Paper Out Trap	用紙なし #1-5	TCP #1-5 用紙なし	–	ENABLE DISABLE	プリンタが用紙切れ状態になったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Paper Jam Trap	用紙ジャム #1-5	TCP #1-5 用紙ジャム	–	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がつまったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Cover Open Trap	カバーオープン #1-5	TCP #1-5 カバーオープン	–	ENABLE DISABLE	プリンタのカバーが開かれるたびにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Printer Error Trap	プリンタエラー #1-5	TCP #1-5 プリンタエラー	–	ENABLE DISABLE	プリンタにエラーが発生したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Trap Address	アドレス #1-5	TCP#1-5	–	0.0.0.0	Trap送信先アドレスを設定します。設定値は10進数「***.***.***.***」形式で入力します。IPアドレスが0.0.0.0の場合は、Trapを送信しません。アドレスは5か所まで指定できます。

SMTP（E-Mail送信）

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
SMTP Transmit	SMTP送信	SMTP送信	─	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	SMTP(E-Mail)送信プロトコルを使用するかどうか設定します。
SMTP server name	SMTPサーバ	SMTPサーバ	─	なし	SMTPサーバ名を設定します。ドメイン名もしくはIPアドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri.)(Sec.)の設定が必要です。
SMTP port number	SMTPポート番号	SMTPポート番号	─	25	SMTPのポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
E-Mail address	プリンタEmail アドレス	プリンタEmail アドレス	─	なし	プリンタのE-Mailアドレスを設定します。
Reply-To address	返信先Emailアドレス	返信先Emailアドレス	─	なし	返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Event to address 1-5	Emailアドレス 1-5	Emailアドレス 1-5	─	なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは5ヶ所まで指定できます。
Notify mode 1-5	障害通知方法	障害通知方法	─	EVENT PERIOD	障害を通知する方法を設定します。
Check time 1-5	メール通知間隔	メール通知間隔	─	1 ～ 24	通知間隔を設定します。定期的な通知を選択した場合のみ有効です。
Consum-able warning Event 1-5	消耗品　警告	消耗品　警告	─	OFF No Wait ～ 48 H 45 M	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Consum-able warning Period 1-5	消耗品　警告	消耗品　警告	─	ON OFF	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Consum-able Error Event 1-5	消耗品　エラー	消耗品　エラー	─	OFF No Wait ～ 48 H 45 M	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Consum-able Error Period 1-5	消耗品　エラー	消耗品　エラー	─	ON OFF	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Mainte-nance Warning Event 1-5	メンテナンスユニット 警告	メンテナンスユニット 警告	−	OFF No Wait ⟆ 2 H 0 M ⟆ 48 H 45 M	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなと)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Warning Period 1-5	メンテナンスユニット 警告	メンテナンスユニット 警告	−	ON OFF	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Error Event 1-5	メンテナンスユニット エラー	メンテナンスユニット エラー	−	OFF No Wait ⟆ 48 H 45 M	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Error Period 1-5	メンテナンスユニット エラー	メンテナンスユニット エラー	−	ON OFF	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Warning Event 1-5	用紙の補充警告	用紙の補充警告	−	OFF No Wait ⟆ 0 H 15 M ⟆ 48 H 45 M	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Warning Period 1-5	用紙の補充警告	用紙の補充警告	−	ON OFF	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Error Event 1-5	用紙の補充エラー	用紙の補充エラー	−	OFF No Wait ⟆ 48 H 45 M	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Error Period 1-5	用紙の補充エラー	用紙の補充エラー	−	ON OFF	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Warning Event 1-5	印刷中の用紙警告	印刷中の用紙警告	−	OFF No Wait ⟆ 48 H 45 M	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Printing Warning Period 1-5	印刷中の用紙警告	印刷中の用紙警告	―	ON OFF	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Error Event 1-5	印刷中の用紙エラー	印刷中の用紙エラー	―	OFF No Wait 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Error Period 1-5	印刷中の用紙エラー	印刷中の用紙エラー	―	ON OFF	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
HDD/Flash Memory Event 1-5	ハードディスク、フラッシュメモリ	ハードディスク、フラッシュメモリ	―	OFF No Wait 〜 48 H 45 M	HDD/フラッシュメモリに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
HDD/Flash Memory Period 1-5	ハードディスク、フラッシュメモリ	ハードディスク、フラッシュメモリ	―	ON OFF	HDD/フラッシュメモリに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Warning Event 1-5	印刷の結果警告	印刷の結果警告	―	OFF No Wait 〜 48 H 45 M	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Warning Period 1-5	印刷の結果警告	印刷の結果警告	―	ON OFF	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Event 1-5	印刷の結果エラー	印刷の結果エラー	―	OFF No Wait 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Period 1-5	印刷の結果エラー	印刷の結果エラー	―	ON OFF	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Other Error Event 1-5	その他	その他	ー	OFF No Wait 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Other Error Period 1-5	その他	その他	ー	ON OFF	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warning Event 1-5	インタフェース　警告	インタフェース　警告	ー	OFF No Wait 〜 48 H 45 M	インタフェース(ネットワークetc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warning Period 1-5	インタフェース　警告	インタフェース　警告	ー	ON OFF	インタフェース(ネットワークetc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Event 1-5	インタフェース　エラー	インタフェース　エラー	ー	OFF No Wait 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M	インタフェース(ネットワークetc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Period 1-5	インタフェース　エラー	インタフェース　エラー	ー	ON OFF	インタフェース(ネットワークetc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Additional Info Printer Model	付加情報設定 Printer Model	付加情報設定 Printer Model	ー	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタモデル名を含めるかどうかを設定します。
Additional Info Network Interface	付加情報設定 Network Interface	付加情報設定 Network Interface	ー	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、ネットワークインタフェース名を含めるかどうかを設定します。
Additional Info Serial Number	付加情報設定 Printer Serial Number	付加情報設定 Printer Serial Number	ー	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのシリアルナンバを含めるかどうかを設定します。
Additional Info Asset Number	付加情報設定 Printer Asset Number	付加情報設定 Printer Asset Number	ー	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタの管理番号を含めるかどうかを設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
Additional Info System Name	付加情報設定 System Name	付加情報設定 System Name	─	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemNameを含めるかどうかを設定します。
Additional Info System Location	付加情報設定 System Location	付加情報設定 System Location	─	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemLocationを含めるかどうかを設定します。
Additional Info IP Address	付加情報設定 IP Address	付加情報設定 IP Address	─	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、IPアドレスを含めるかどうかを設定します。
Additional Info Ethernet Address	付加情報設定 Ethernet Address	付加情報設定 Ethernet Address	─	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、イーサネットアドレスを含めるかどうかを設定します。
Additional Info Computer Name	付加情報設定 Computer Name	付加情報設定 Computer Name	─	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのコンピュータ名を含めるかどうかを設定します。
Additional Info Printer URL	付加情報設定 Printer URL	付加情報設定 Printer URL	─	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのURLを含めるかどうかを設定します。
Comment line 1-4	Comment Line 1-4	Comment Line 1-4	─	なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4行設定できます。1行は63文字まで入力でき、それを越える場合は自動的に改行します。
SMTP Auth	SMTP認証設定	SMTP認証設定	─	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SMTP認証をするかどうかを設定します。
User ID	ユーザID	ユーザID	─	なし	SMTP認証のユーザIDを設定します。
User Password	パスワード	パスワード	─	なし	SMTP認証のパスワードを設定します。

POP（E-Mail 受信）

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
POP3	POPプロトコル	POP3プロトコルを使用する	ー	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	POP3(E-Mail)プロトコルを使用するかどうか設定します。
POP3 server	POPサーバ名	POP3サーバアドレス/サーバ名	ー	なし	POP3サーバ名を設定します。ドメイン名もしくはIPアドレスを指定してください。 ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(Sec)の設定が必要です。
POP port number	POPポート番号	POP3ポート番号	ー	110	POP3ポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
POP3 server UserID	POPアカウント	POP3サーバユーザID	ー	なし	POP3サーバに接続するためのユーザIDを設定します。16文字以内の英数字です。
POP3 server Password	POPパスワード	POP3サーバパスワード	ー	なし	POP3サーバに接続するためのパスワードを設定します。16文字以内の英数字です。
Use APOP	APOPサポート	APOPを使用する	ー	YES NO	APOPを使用するかどうかを設定します。お使いのPOP3サーバがAPOPに対応している場合にのみ、[YES]にしてください。
MailPolling Time(min.)	POP受信間隔	POP3受信間隔	ー	OFF 1min 5min 10min 30min 60min	メール受信を確認する間隔を設定します。[OFF]のときはメール受信を行いません。

SMTP（E-Mail受信）

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
SMTP Receive	SMTP受信*1	SMTP受信*1	−	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	SMTP(E-Mail)受信プロトコルを使用するかどうか設定します。
Domain Filter	ドメインフィルタを使用する	ドメインフィルタを使用する	−	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	ドメインフィルタを使用するかどうかを設定します。
Filter Policy	フィルタポリシー	フィルタポリシー	−	ACCEPT DENY	設定したドメインを受け付けるか拒否するかどうかを選択します。
Domain 1-4	ドメインフィルタ1-4	ドメインフィルタ1-4	−	なし	ドメイン名を設定します。64文字以内で設定できます。

*1: Webブラウザでは「Email」-「受信設定」項目に表示されます。

SNTP

網かけ部は初期値です。

項　目				設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	AdminManager	Setup Utility		
SNTP	SNTPサービスを使用する	SNTPを使用する	−	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	SNTPプロトコルの使用/非使用を設定します。
NTP Server Address1	NTPサーバー（プライマリ）	NTPサーバー名1	−	なし	時間取得をするNTPサーバー（プライマリ）のIPアドレスを設定します。
NTP Server Address2	NTP（セカンダリ）	NTPサーバー名2	−	なし	時間取得をするNTPサーバー（セカンダリ）のIPアドレスを設定します。
Adjust Interval	調整間隔	時間補正間隔	−	1時間	NTP Server 1もしくは、NTP Server 2に時間取得に行くインターバルを設定します。
Local Time Zone	タイムゾーン	ローカル時間設定	−	+00:00	GMTとの時間差を設定します。
Daylight Saving	夏時間の設定	夏時間設定	−	ON（使用する） OFF（使用しない）	サマータイムの設定をします。

無線LANカード装着時の操作パネルのメニュー

分類	項　目			設定値	機　能
プリンタ情報	Network	Slot2:Wireless	Network Type	Ad-Hoc Infrastructure	通信モードを表示します。
			Communica-tion Mode	Auto 802.11b	通信規格を表示します。
			Channel	1 〜 13	通信チャネルを表示します。 [Network Type] が [Ad-Hoc] のときのみ有効となります。 [Network Type] が [Infrastructure] のときは自動選択されます。
			SSID	xxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxx	SSIDを表示します。
			Authentica-tion	Open Shared Key WPA-PSK EAP	認証方式を表示します。
			Printer Name*	xxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxx	無線LANの"Printer Name"(DNSやNetwork PnPで使用するPrinter Name)を表示します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[Network Setup]-[Slot2:Wireless]-[TCP/IP]が[Enable]のときに表示されます。
			Short Printer Name*	xxxxxxxxxxxxxxx	無線LANの"Short Printer Name"(NetBEUI Computer Nameで使用されるPrinter Name)を表示します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[Network Setup]-[Slot2:Wireless] の [TCP/IP]および [NetBEUI]のどちらかが [Enable]のときに表示されます。
			IP Address*	xxx.xxx.xxx.xxx	無線LANのIPアドレスを表示します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[Network Setup]-[Slot2:Wireless]-[TCP/IP]が[Enable]のときに表示されます。
			Subnet Mask*	xxx.xxx.xxx.xxx	無線LANのサブネットマスクを表示します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[Network Setup]-[Slot2:Wireless]-[TCP/IP]が [Enable]のときに表示されます。
			Gateway Address*	xxx.xxx.xxx.xxx	無線LANのゲートウェイ(デフォルトルータ)アドレスを表示します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[Network Setup]-[Slot2:Wireless]-[TCP/IP]が [Enable]のときに表示されます。

分類	項　目			設定値	機　能
プリンタ情報	Network	Slot2:Wireless	MAC Address	xx:xx:xx:xx:xx:xx	無線LANのMACアドレスを表示します。
			Network FW Version	xx.xx	無線LANファームウェアのバージョンを表示します。
			Web Remote Version	xx.xx	無線LANのWebPageのバージョンを表示します。
			Wireless FW Version	xx.xx	無線LANカードのF/Wバージョンを表示します。
			Wireless ID Version	xxxxxxxx xx xxxxxxxx	無線LANカードのH/Wバージョンを表示します。
プリンタ情報印刷	Network	Slot2:Wireless	Print Summary	Execute	無線LANに関する最小限の情報を印刷します。
			Print Information	Execute	無線LANに関する詳細な情報を印刷します。
管理者用メニュー	Network Setup	Slot2:Wireless	Network Type	Ad-Hoc Infrastructure	通信モードを設定します。
			Communication Mode	Auto 802.11b	通信規格を設定します。
			Channel	1 ∫ 13	通信チャネルを設定します。 通信モードがAd-Hocの時のみ有効となります。 Infrastructureモードでは自動選択されます。
			SSID	default xxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxx	SSIDを設定します。
			Authentication	Open Shared Key WPA-PSK EAP	認証方式を選択します。
			Initialize 802.11?	Execute	無線LANの設定情報（Network Type, Communication Mode, Channel, SSID, Authentication, WEP, WPA-PSK, EAP）を工場出荷時設定に戻します。 また、EAP認証用の証明書は削除されます。
			TCP/IP	Enable Disable	無線LANのTCP/IPプロトコルの有効/無効を設定します。
			IP Address Set*	Auto Manual	無線LANのIPアドレスの設定方法を設定します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[Network Setup]-[Slot2:Wireless]-[TCP/IP]が[Enable]のときに表示されます。

分類	項目			設定値	機能
管理者用メニュー	Network Setup	Slot2:Wireless	IP Address*	xxx.xxx.xxx.xxx	無線LANのIPアドレスを設定します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[Network Setup]-[Slot2:Wireless]-[TCP/IP]が [Enable]のときに表示されます。
			Subnet Mask*	xxx.xxx.xxx.xxx	無線LANのサブネットマスクを設定します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[Network Setup]-[Slot2:Wireless]-[TCP/IP]が[Enable]のときに表示されます。
			Gateway Address*	xxx.xxx.xxx.xxx	無線LANのゲートウェイ(デフォルトルータ)アドレスを設定します。 0.0.0.0はルータ無しを意味します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[Network Setup]-[Slot2:Wireless]-[TCP/IP]が[Enable]のときに表示されます。
			Factory Defaults?	Execute	無線LANのネットワークメニューの初期化を行うかを指定します。
			Web*	Enable Disable	無線LANのWebの有効/無効を設定します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[Network Setup]-[Slot2:Wireless]-[TCP/IP]が[Enable]のときに表示されます。
			Telnet*	Enable Disable	無線LANのTelnetの有効/無効を設定します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[Network Setup]-[Slot2:Wireless]-[TCP/IP]が [Enable]のときに表示されます。
			FTP*	Enable Disable	無線LANのFTPの有効/無効を設定します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[Network Setup]-[Slot2:Wireless]-[TCP/IP]が[Enable]のときに表示されます。
			SNMP*	Enable Disable	無線LANのSNMPの有効/無効を設定します。 *: [機能設定]-[管理者用メニュー]-[Network Setup]-[Slot2:Wireless] の[TCP/IP]および [NetWare]のどちらかが [Enable]のときに表示されます。

5 困ったときには

特定のコンピュータのみ通信できない・通信できるコンピュータとできないコンピュータがある

現象： 同一無線ネットワークに接続しているコンピュータに、通信できるコンピュータとできないコンピュータとがある。

考えられる原因	処　置
アドホックモードで、ワイヤレスコンピュータのワイヤレスネットワーク設定が誤っている。	通信できないワイヤレスコンピュータのワイヤレス設定（SSID、認証・暗号化設定、チャンネル）とネットワーク設定（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）と、通信できるワイヤレスコンピュータの設定との差異を確認し、通信できないワイヤレスコンピュータに正しい設定をします。
インフラストラクチャモードで、コンピュータの有線ネットワーク設定が誤っている。	通信できないコンピュータのネットワーク設定（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）と通信できるコンピュータの設定の違いを確認し、通信できないコンピュータに正しい設定をします。
インフラストラクチャモードで、コンピュータに接続されているLANケーブル、ハブに障害がある。	通信できないコンピュータに接続されているLANケーブル、ハブが正常に動作しているか確認します。
ML9600PSの「IPフィルタリング」設定が誤っている。	ML9600PSの無線LANカードの「IPフィルタリング」設定で、通信できないコンピュータを接続許可するように設定します。 ※有線LANインタフェースの「IPフィルタリング」設定と無線LANカードの「IPフィルタリング」設定とは各々別に設定しなければなりません。

特定のアプリケーション／ユーティリティのみ通信できない・特定のプロトコルでのみ通信できない

現象： 同一コンピュータ上で動作しているアプリケーション／ユーティリティの中に、ML9600PSと通信できるものとできないものがある。

考えられる原因	処　置
アプリケーション／ユーティリティの設定が誤っている。	アプリケーション／ユーティリティの送信先設定など、ネットワークに関連する設定を再確認し、正しい設定にします。
IPX/SPX、EtherTalk、NetBEUIなどのTCP/IP以外のプロトコルが使用されている。	アプリケーション／ユーティリティで、TCP/IPを利用する設定にします。（ML9600PSの無線LANカードではTCP/IPのみサポートしています。）
ML9600PSの「セキュリティ」設定が誤っている。	ML9600PSの無線LANカードの「セキュリティ」設定で、アプリケーション／ユーティリティで使用されるサービスを有効に設定します。 ※有線LANインタフェースの「セキュリティ」設定と無線LANカードの「セキュリティ」設定とは各々別に設定しなければなりません。

特定のプリンタのみ通信できない

現象： 同じ無線ネットワークに接続している複数のML9600PSの中に、通信できるML9600PSと通信できないML9600PSがある。

考えられる原因	処　置
通信できないプリンタの無線LAN設定・ネットワーク設定が誤っている。	通信できるプリンタと無線LAN設定・ネットワーク設定を比較し、通信できないプリンタに正しい設定をしてください。
電波状況が悪い・障害物により電波が届きにくい。	通信できないプリンタの設置位置・向きを変えてみてください。
	アクセスポイントの設置位置・向きを変えてみてください。
	周辺の電波源（コードレス電話・電子レンジ・Bluetooth機器など）を確認し、不要な機器の電源を切ってください。
多数の無線端末（ノートPCなど）が同時接続し、アクセスポイントの最大接続数の上限を超えている。	別のアクセスポイントに接続するよう、ML9600PSの設定を変更してください。
	不要な無線端末（ノートPCなど）の電源を切ってください。 ※待機状態であっても無線端末はアクセスポイントに接続しています。
プリンタのハードウェア障害	お客様相談センターにご相談ください。
無線LANカードのハードウェア障害	

特定のアクセスポイントを経由したときだけ通信できない・時々通信できなくなる・時々通信が途切れる・通信速度が極端に遅い

現象： 同一無線LAN設定で、特定のアクセスポイントを経由したときだけ無線通信がうまくいかない。他のアクセスポイントを経由した場合には無線通信に問題は発生しない。

考えられる原因	処　　置
アクセスポイントのLANケーブル接続が不適切	アクセスポイントのLANケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ケーブル種類（ストレート／クロス）、接続コネクタなどを確認してください。 特にアクセスポイントのLANポートが、“WAN側”“LAN側”などと区別されているときには接続に注意が必要です。
	アクセスポイントに接続しているLANケーブルおよび接続先のハブを、別のLANケーブル、ハブに交換してください。
アクセスポイントのネットワーク設定が不適切	アクセスポイントがルータ機能を持っている場合、接続されているネットワークに合わせて適切に設定されているか確認してください。
アクセスポイントのMACアドレスフィルタリング機能が働いている。	アクセスポイントのMACアドレスフィルタリング機能を有効に設定している場合、ML9600PSを接続許可リストに登録してください。 ※アクセスポイントには、ML9600PSの無線LANカードのMACアドレスを登録してください。誤って有線LANインタフェースのMACアドレスを登録しないよう注意してください。 ※無線LANカードのMACアドレスはNetwork Informationに記載されます。Network Informationの印刷方法は「無線LANカードの設定情報を印刷する」（46ページ）を参照してください。
アクセスポイントが「高速転送モード」に設定されている。	アクセスポイントが「フレームバースト」などの高速転送モードに設定されていると、ML9600PSとの通信に障害が発生する可能性があります。アクセスポイントの高速転送モードをOFFに設定してください。
アクセスポイントが故障している。	ワイヤレスコンピュータから使用しているアクセスポイントを経由した無線通信を行い、正常に通信できるか確認してください。現象がML9600PS以外の機器でも発生する場合、アクセスポイント自体の問題があると考えられます。
アクセスポイントの不具合・機種による特性	アクセスポイントのベンダのホームページなどで類似現象を検索し、そこに記載されている対策を実施してください。
	アクセスポイントのファームウェアを最新バージョンに更新してください。
	アクセスポイントを別の機種に交換してください。
多数の無線端末（ノートPCなど）が同時接続しているため、アクセスポイントの最大接続数の上限を超えている。	別のアクセスポイントに接続するようにML9600PSの設定を変更してください。
	不要な無線端末（ノートPCなど）の電源を切ってください。 ※待機状態であっても無線端末はアクセスポイントに接続しています。

アドホックモードで特定のワイヤレスコンピュータとだけ通信できない・時々通信できなくなる・時々通信が途切れる

現象： 同一無線LAN設定であるにも関わらず、特定のワイヤレスコンピュータとのアドホックモード無線接続がうまくいかない。
他のワイヤレスコンピュータではML9600PSとの無線通信に問題は発生しない。

考えられる原因	処　置
ワイヤレスコンピュータのネットワーク設定が不適切	アドホックモード接続時でもIPアドレスなどのネットワーク設定は必要です。 ワイヤレスコンピュータのワイヤレスインタフェースのネットワーク設定を正しく設定してください。
ワイヤレスコンピュータの無線機能がOFFになっている。	ワイヤレスコンピュータのワイヤレスインタフェースを有効に設定してください。
ワイヤレスコンピュータの有線LANインタフェースが使用されている。	有線LANインタフェースとワイヤレスインタフェースを両方とも有効に設定されていると、アプリケーション／ユーティリティが有線LANインタフェースの方を使用してしまうことがあります。 ワイヤレスコンピュータの有線LANインタフェースを無効に設定してください。
ワイヤレスコンピュータが「高速転送モード」に設定されている。	ワイヤレスコンピュータが「フレームバースト」などの高速転送モードを使用する設定にされていると、ML9600PSとの通信に障害が発生する可能性があります。ワイヤレスコンピュータの高速転送モードをOFFに設定してください。
ワイヤレスコンピュータの障害	別のワイヤレスコンピュータとアドホックモード無線通信を行い、正常に通信できるか確認してください。現象がML9600PS以外の機器との無線通信でも発生する場合、ワイヤレスコンピュータ自体の問題があると考えられます。
ワイヤレスコンピュータまたはそのコンピュータに装着されている無線カードの不具合・機種による特性	ワイヤレスコンピュータまたは無線カードベンダのホームページなどの不具合情報の中に類似現象を検索し、そこに記載されている対策を実施してください。
	ワイヤレスコンピュータのデバイスドライバ、ワイヤレスクライアントソフトを最新のバージョンに更新してください。
	まれにML9600PSとワイヤレスコンピュータとの相性問題により、ML9600PSとの無線通信が不安定になることがあります。ワイヤレスコンピュータを別の機種に交換してください。
同じチャンネルが使用されている。	他で使用されていないSSIDとチャンネルをワイヤレスコンピュータとML9600PSとに設定してください。 ※チャンネルは、他で使用されているチャンネルと5チャンネル離して設定してください。隣接したチャンネル同士では電波が干渉し、接続が不安定になる可能性があります。

無線接続できない・時々通信が途切れる・通信速度が極端に遅い

現象： まったく無線接続できない。
通信できるときと、できないときがある。
通信速度が極端に遅い。

考えられる原因	処　置
アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータの電源が切れている。	アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータの電源が入っていることを確認してください。
アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータの電波送出が切れている。	アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータの設定を確認し、802.11b/gの電波送出をONに設定してください。 ※802.11a/b/gコンボタイプのアクセスポイント／ワイヤレスコンピュータでは“11aのみ有効”といった設定になっていることがあります。
	ワイヤレスコンピュータのデバイスドライバが正しくインストールされ、動作していることを確認してください。 （別のワイヤレスコンピュータとアドホックモード無線通信できることを確認してください。）
アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータの設定がML9600PSと一致していない。	Openモードで接続を試してみてください。「Openモードで接続に失敗する」（84ページ）を参照して、ML9600PSに正しく設定をしてください。 Openモードで接続が確認できたら、WPA-PSKモードなどご使用の無線LAN環境に合わせて設定変更を行ってください。
電波状況が悪い・障害物により電波が届きにくい。	現象が発生するプリンタの設置位置・向きを変えてみてください。
	アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータの設置位置・向きを変えてみてください。
	周辺の電波源（コードレス電話・電子レンジ・Bluetooth機器など）を確認し、不要な機器の電源を切ってください。
同じSSIDを持つアクセスポイントが複数存在している。（ローミングを行っている場合を除く）	周辺に設置されているアクセスポイントの設定を確認してください。 管理者が把握していない隠れアクセスポイントの存在や隣接フロア／建物のアクセスポイントにも注意が必要です。 別のSSIDを使用するようにML9600PSとアクセスポイントを設定変更してみてください。
同じチャンネルが使用されている。	インフラストラクチャモードの場合は、アクセスポイントのチャンネル設定を変更してください。 アドホックモードの場合は、ワイヤレスコンピュータとML9600PSの両方のチャンネル設定を変更してみてください。 ※チャンネルは、他で使用されているチャンネルと5チャンネル離して設定してください。隣接したチャンネル同士では電波が干渉し、接続が不安定になる可能性があります。
アクセスポイントの障害	「特定のアクセスポイントを経由したときだけ通信できない」（80ページ）を参照して、アクセスポイントの障害が原因でないか確認してください。
アドホックモード接続でのワイヤレスコンピュータの障害	「アドホックモードで特定のワイヤレスコンピュータとだけ通信できない」（81ページ）を参照して、ワイヤレスコンピュータの障害が原因でないか確認してください。

DHCP設定でIPアドレスの取得に失敗する・意図しないIPアドレスを取得している

現象： ML9600PSをDHCPを有効にした設定で動作させていて、IPアドレスの取得に失敗している。あるいは、DHCPサーバから割り当てられるIPアドレスとは別のIPアドレスで動作してしまう。

考えられる原因	処　　置
DHCPサーバのIPアドレスプールが枯渇してしまい、IPアドレスを割り当てられない。	DHCPサーバのIPアドレス割り当て状況を確認し、DHCPサーバのIPアドレスプールを適切に設定してください。
	ML9600PSのIPアドレス設定を手動設定に変更し、適切なIPアドレスを設定してください。
アクセスポイントのDHCPサーバ機能によりIPアドレスが割り当てられている。	アクセスポイントの設定を確認し、DHCPサーバ機能を適切に設定してください。
DHCPサーバと通信できない。	アクセスポイントとDHCPサーバとのネットワーク経路を確認し、ML9600PSがアクセスポイント経由でDHCPサーバと通信できるように接続してください。

アドホックモードの場合は、通常、DHCPによるIPアドレス割り当ては行われません。アドホックモードで使用する場合は、ML9600PSとワイヤレスコンピュータとに、手動設定にて固定IPアドレス設定をしてください。

Open モードで接続に失敗する

現象： 電波状態に問題がないにも関わらず、Openモードでの無線接続できない。

考えられる原因	処　　置
ML9600PSのSSID設定が誤っている。	アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータの設定を確認し、ML9600PSに正しいSSIDを設定してください。 SSIDは大文字小文字が区別されるので注意してください。
アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータの設定が誤っている。	アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータの設定を確認し、正しく設定してください。 確認すべき設定項目の例を以下に示します。 ・SSID ・認証方式（Openモードに設定されていること） ・暗号化方式（暗号なしに設定されていること）
アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータの無線規格がML9600PSと一致していない。	アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータがIEEE802.11bまたは802.11g対応機器であることを確認してください。ML9600PSはIEEE802.11b/gのみをサポートしています。
	アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータのIEEE802.11bまたは802.11g機能がEnableになっていることを確認してください。
	アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータとML9600PSが使用している無線規格が一致するように設定を変更してください。 例えば、ML9600PSの[通信モード]が[802.11b]に設定されていて、かつ、アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータが[802.11g Only]に設定されていると、接続できなくなります。
ML9600PSのネットワーク設定が誤っている。	ML9600PSに、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを正しく設定してください。 ※ML9600PSの有線LANインタフェースのネットワーク設定と無線LANカードのネットワーク設定とは別に設定しなければならないことに注意してください。

Shared Key モードで接続に失敗する

現象： Openモードでは無線通信に問題はないが、Shared Keyモードに設定したところ接続に失敗する。

考えられる原因	処　　置
アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータの設定が誤っている。	アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータの設定を確認し、正しく設定してください。 確認すべき設定項目の例を以下に示します。 ・認証設定（Shared Key（共有鍵方式）またはOpenモードに設定されていること） ・暗号化方式（WEP 64(40)bitsまたはWEP 128(104)bitsに設定されていること） ・WEPキー、キーサイズ、キー入力方式、キーインデックス ※アクセスポイントによっては、入力した文字列からWEPキーを自動生成する機能を持ちます。この機能にはML9600PSは対応していません。 ※アクセスポイント／ワイヤレスコンピュータが認証設定「Open」+暗号化方式「WEP」と設定されていて、ML9600PSが接続できない場合は、アクセスポイント・ワイヤレスコンピュータを認証設定「Shared Key」+暗号化方式「WEP」に設定してください。
ML9600PSのWEP設定が誤っている。	WEPキーおよびキーインデックスを確認し、ML9600PSに正しく設定します。 キー入力方式に「ASCII」を選択した場合、大文字小文字が区別されるので注意してください。

WPA-PSK モードで接続に失敗する

現象： Openモードや Shared Keyモードでは無線通信に問題はないが、WPA-PSKモードに設定したところ接続に失敗する。

考えられる原因	処　置
アクセスポイントの設定が誤っている。	アクセスポイントの設定を確認し、正しく設定してください。 確認すべき設定項目の例を以下に示します。 ・WPA-PSK設定（Pre-Shared Key（事前共有鍵）の設定値） ・暗号化方式（TKIPに設定されていること）
ML9600PSのPre-Shared Key設定が誤っている。	Pre-Shared Key（事前共有鍵）を再確認し、ML9600PSに正しく設定します。 Pre-Shared Key（事前共有鍵）は、大文字小文字も区別されるので注意してください。
暗号化方式がML9600PSとアクセスポイントとで一致していない。	アクセスポイントの暗号化方式を「TKIP」に設定します。

WPA-PSK モードで時々通信が途切れる

現象： WPA-PSKモードで無線通信できているが、時々通信が途切れる。Openモードでは通信が途切れることはない。

考えられる原因	処　置
暗号鍵の更新処理により通信が滞る。 ※WPA-PSKモードでは、定期的に暗号鍵を更新することによりセキュリティを高めています。	アクセスポイントの暗号鍵の更新間隔を長く設定変更します。 ただし、暗号鍵の更新を無効にしない限り現象が発生する可能性は残ります。 また、暗号鍵の更新を無効に設定した場合は、セキュリティが損なわれる可能性があります。

クライアント証明書のインポートでエラーが発生する

現象： EAP認証用のクライアント証明書のインポートを実行すると、エラーが発生しインポートに失敗する。

考えられる原因	処　置
クライアント証明書のファイル形式が誤っている。	証明書配布元に、PKCS#12形式のクライアント証明書ファイルを再配布してもらいます。
クライアント証明書に秘密鍵が含まれていない。	証明書配布元に、クライアント証明書ファイルに秘密鍵を含めた形式で再配布してもらいます。
証明書のハッシュアルゴリズムがサポート対象外	証明書発行元に、MD5またはSHA1のハッシュアルゴリズムを使用した証明書を再発行してもらいます。
証明書の「Extended key Usage」属性に「クライアント認証」がセットされていない。	証明書発行元に、「クライアント認証」のセットされた証明書を再発行してもらいます。（通常、無線LANのEAP認証用として発行された証明書には「クライアント認証」がセットされています。）
証明書の鍵サイズがサポート対象外	証明書発行元に、512/1024/2048/4096bitsのいずれかの鍵サイズで生成された証明書を再発行してもらいます。
証明書ファイルのサイズが大きすぎる。	一般的な証明書ファイルでは、サイズ超過でインポートエラーとなることはありません。 証明書ファイルが誤っているか、証明書チェーンなど複数の証明書が含まれている可能性があります。証明書発行元に正しい証明書を発行してもらいます。

CA 証明書のインポートでエラーが発生する

現象： EAP認証用のCA証明書のインポートを実行すると、エラーが発生しインポートに失敗する。

考えられる原因	処　置
CA証明書のファイル形式が誤っている。	証明書配布元に、DERまたはPEM形式のCA証明書ファイルを再配布してもらいます。
証明書の鍵サイズがサポート対象外	証明書発行元に、512/1024/2048/4096bitsのいずれかの鍵サイズで生成された証明書を再発行してもらいます。
証明書のハッシュアルゴリズムがサポート対象外	証明書発行元に、MD5またはSHA1のハッシュアルゴリズムを使用した証明書を再発行してもらいます。
証明書ファイルのサイズが大きすぎる。	一般的な証明書ファイルでは、サイズ超過でインポートエラーとなることはありません。 証明書ファイルが誤っているか、証明書チェーンなど複数の証明書が含まれている可能性があります。証明書発行元に正しい証明書を発行してもらいます。

EAP モードで接続に失敗する

現象： OpenモードやWPA-PSKモードでは無線通信に問題はないが、EAPモードに設定したところ認証に失敗する。
・RADIUSサーバのログに認証エラーを示すログが記録される。
・Network SummaryのAuthentication Status欄に"Fail (EAP-TLS + TKIP)"と記載される。
など

考えられる原因	処　置
アクセスポイントの設定が誤っている。	アクセスポイントの設定を確認し、正しく設定してください。 確認すべき設定項目の例を以下に示します。 ・ネットワーク設定（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが正しく設定されていること） ・EAP設定（RADIUSサーバのIPアドレス、ポート番号、shared secretなどが正しく設定されていること） ・暗号方式設定（TKIPに設定されていること）
RADIUSサーバの設定が誤っている。	RADIUSサーバの設定を確認し、正しく設定してください。 確認すべき設定項目の例を以下に示します。 ・Authenticator（アクセスポイント）設定（アクセスポイントのIPアドレス、許可する認証方式、shared secretなどが正しく設定されていること） ・EAP設定（EAPユーザ名、証明書などが正しく設定されていること） ・サーバ証明書（正しいサーバ証明書がインストールされていること）
ML9600PSのEAPユーザ名設定が誤っている。	ネットワーク管理者にEAPユーザ名を確認し、ML9600PSの設定を正しく変更してください。
ML9600PSにインポートされたクライアント証明書が誤っている。	EAPユーザ名に対応したRADIUSサーバで認証可能な証明書を、ネットワーク管理者から配布してもらい、ML9600PSにインポートしてください。
ML9600PSにインポートされたCA証明書が誤っている。	RADIUSサーバのサーバ証明書の直接の発行元CAの証明書を、ネットワーク管理者から配布してもらい、ML9600PSにインポートしてください。
認証方式がRADIUSサーバと一致していない。	RADIUSサーバの設定を変更し、EAP-TLS認証を有効に設定してください。
認証方式がML9600PSとアクセスポイントで一致していない。	アクセスポイントのサポートしているEAP方式を確認し、EAP-TLSをサポートしているか確認してください。
暗号化方式がML9600PSとアクセスポイントで一致していない。	アクセスポイントの暗号化方式を「TKIP」に変更してください。
Cipher Suiteが、ML9600PSとRADIUSサーバとで一致していない。 （Cipher SuiteはEAP-TLS認証における鍵方式・暗号方式の組み合わせを示します。）	RADIUSサーバの設定を変更し、ML9600PSのサポートしているCipher Suiteを有効に設定してください。 ML9600PSでサポートしているCipher Suiteは以下の通りです。 SSL3_TXT_EDH_RSA_DES_192_CBC3_SHA SSL3_TXT_EDH_DSS_DES_192_CBC3_SHA TLS1_TXT_DHE_DSS_WITH_RC4_128_SHA SSL3_TXT_EDH_RSA_DES_64_CBC_SHA　※DES 64bit暗号化 SSL3_TXT_EDH_DSS_DES_64_CBC_SHA　※DES 64bit暗号化 SSL3_TXT_RSA_DES_192_CBC3_SHA SSL3_TXT_RSA_RC4_128_SHA SSL3_TXT_RSA_RC4_128_MD5 SSL3_TXT_RSA_DES_64_CBC_SHA

EAPモードで時々通信が途切れる

現象： EAPモードで無線通信できているが、時々通信が途切れる。OpenモードやWPA-PSKモードでは通信が途切れることはない。

考えられる原因	処　置
再認証により通信が滞る。 ※EAPモードでは、アクセスポイント・RADIUSサーバの設定によっては、定期的に再認証を求められることがあります。再認証中は無線接続が途切れます。	アクセスポイントまたはRADIUSサーバの再認証の間隔を長く設定変更します。 ただし、再認証を無効にしない限り現象が発生する可能性は残ります。 また、再認証を無効に設定した場合は、セキュリティが損なわれる可能性があります。

付　録

用語解説

用　語	解　　説
CA証明書	RADIUSサーバの証明書を発行した認証局(Certificate Authority: CA)の証明書です。 EAP認証において、クライアントがRADIUSサーバを認証するために使用します。
EAP(Extensible Authentication Protocol)	IEEE802.1Xに準拠したユーザ認証を行うためのプロトコルです。 EAPには様々な方式が存在します。本製品では「EAP-TLS」と呼ばれる方式をサポートしています。 EAPによるユーザ認証を行うためには別途、認証サーバ(RADIUSサーバ)が必要です。 WPA規格に準拠しEAPをサポートしたアクセスポイントと通信することができます。
EAP-TLS	EAPの方式の一つです。 クライアントと認証サーバ(RADIUSサーバ)の双方が電子証明書を使って相互認証を行います。 EAP-TLSでユーザ認証を行うためには、プリンタ自身を証明する「クライアント証明書」と認証サーバ(RADIUSサーバ)を認証するための「CA証明書」がプリンタにインポートされていることが必要です。
Pre-Shared Key(事前共有鍵)	WPA-PSK方式において暗号化鍵を生成するために使用されます。 無線端末とアクセスポイントに同じ事前共有鍵を設定する必要があります。 同じ事前共有鍵を使用していても、生成される暗号鍵は認証の度に毎回異なります。
RADIUS(Remote Authentication Dial-In User Service)サーバ	IEEE802.1X/EAPによるユーザ認証を行う認証サーバです。 無線LAN環境でIEEE802.1X/EAPを用いたユーザ認証を実施するには、IEEE802.1X/EAPに対応したアクセスポイントとRADIUSサーバを用意し、RADIUSサーバにおいてアクセスポイント及びユーザの登録情報を管理する必要があります。
SSID(Service Set Identifier)	SSIDは無線LANネットワークを識別するための名前です。 「ESSID」と表記されることもあります。
TKIP(Temporal Key Integrity Protocol)	TKIPはWEP方式にかわる無線LANの暗号化方式です。 TKIPでは一定期間ごとに暗号化キーが自動的に変更されるなど、WEPよりも強固なセキュリティが確保されます。
WEP(Wired Equivalent Privacy)	無線LANの基本的な暗号化方式です。 本製品では64bitと128bitのWEPキーサイズをサポートしています。 各無線端末とアクセスポイントに同じWEPキーを設定する必要があります。 WEPキーを使って認証(シェアードキー認証)を行うこともできます。 WEPによる暗号化は、現在では強固な暗号化方式とは言えなくなっています。
WPA-PSK認証	事前共有鍵(Pre-Shared Key: PSK)を用いた認証と暗号化を行います。 WPA規格に準拠したアクセスポイントと通信することができます。 本製品では認証方法として「WPA-PSK」を設定した場合、無線通信はTKIP暗号化が行われます。
アドホックモード	プリンタとワイヤレスコンピュータがアクセスポイントを経由せず、直接通信します。
インフラストラクチャモード	全ての無線通信がアクセスポイントを経由して行われます。 どのアクセスポイントと無線接続するかは「SSID」によって定まります。
オープンシステム認証	無線接続を確立するときに認証が行われません。 誰でも無線接続できてしまいますので、セキュリティ上危険です。 本製品では認証方式として「Open」を設定した場合は、無線通信の暗号化も行われません。
クライアント証明書	EAP認証において、クライアント自身を証明するために使用します。 EAP認証で使用されるクライアント証明書には「Extended Key Usage」属性に「クライアント認証」属性が含まれていることが必要です。
シェアードキー(Shared Key)認証	WEP(Wired Equivalent Protocol)キーを用いて無線LAN通信における基本的な認証が行われます。 プリンタと同じWEPキーが設定されているアクセスポイントまたはワイヤレスコンピュータとのみ無線通信ができます。 本方式を使用するためにはWEPキーの設定が必要です。

お客様相談センターのご案内

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次ページの「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。
なお、内容確認のため、録音をさせていただいております。

お客様相談センター　0120-654-632

（携帯電話からは03-5833-5710）

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00 月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00 土曜日
(但し　祝日を除く)

※ 月曜日～金曜日の17:30～20:00及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、 翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは、(株)沖電気カスタマアドテック(OCA)とそのグループ会社が担当しております。

付
録

（個人情報の取り扱いについて）

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a）当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号など保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。
b）お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。
c）予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社の提携会社より、サービス提供, アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。
d）裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

― お問い合わせに回答できない場合について ―

1. UNIX環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5 プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ
6 無線LANのアクセスポイント, RADIUSサーバや証明書の運用に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境
機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿年＿＿月
追加オプション：　なし　・　あり（　　　　　　　　　）

コンピュータ環境
□Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
□Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

接続方法
□パラレル　□USB　□ネットワーク(10/100Base)　□無線LAN
□TCP/IP　□IPX/SPX　□EtherTalk　□NetBEUI

プリンタドライバ
プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト
アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿
使用フォント名：＿＿＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）
コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
プリンタの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

その他
他のアプリケーションからの印刷：□正常　□印刷できない
他のコンピュータからの印刷　：□正常　□印刷できない

付録